

令和 2 年度作成

業務概要と計画

茨城県潮来保健所

目 次

第 1	保健所の概要	1	~ 9
	1 管内の概況		1
	(1) 位置及び地勢		1
	(2) 管内の現況		1
	(3) 交通		1
	(4) 管内の略図・位置図		2
	2 沿 革		3
	3 保健所の組織機構及び主な業務		4
	4 保健所運営関係		6
	(1) 鹿行保健医療福祉協議会委員		6
	(2) 茨城県銚田・潮来保健所感染症診査協議会委員		6
	(3) 非常勤特別職員		6
	(4) 鹿行保健医療圏地域医療構想調整会議委員		7
	5 保健所の健康相談		8
	6 平成31年（令和元年）度経理状況		9
第 2	事務事業の執行状況	10	~ 74
- 1	総 務 課		
1	庶務		10
- 2	地域保健推進室		
1	鹿行保健医療福祉協議会の開催		10
2	鹿行保健医療圏における地域医療構想調整会議の開催		10
3	健康危機管理		11
4	医事事務		12
5	医療施設の立入検査		12
6	医療従事者数		12
7	救急医療		13
	(1) 救急告示医療機関の認定		13
	(2) 病院群輪番制会議への参加		14
8	介護保険制度の推進に関する指導支援		14
	(1) 介護認定調査従事者研修会の開催		14
	(2) 介護保険施設等指導監査の実施		14
	(3) 市町村介護予防事業担当者研修		15
	(4) 介護保険事業に関する支援		15
9	医学生等に対する保健所実習指導		15
10	地域ケアシステム推進事業		16
11	地域リハビリテーション体制強化事業		16
12	普及啓発事業		16
13	苦情・相談		17
14	人口動態及び厚生統計業務		17
15	医療関係従事者免許申請事務		17
16	在宅医療・介護連携推進事業		18
	(1) 鹿行管内 5 市の在宅医療・介護連携推進事業に係る情報交換会		18
	(2) 市による在宅医療・介護連携推進事業に対する支援		18
	(3) 医療提供施設等グループ化推進事業の支援		18
	【参考資料】・平成 30 年 人口動態総覧		19
	・最近年における潮来保健所管内人口動態の推移		20
	・平成 30 年 選択死因の死亡順位		21
	・平成 30 年 潮来保健所管内の悪性新生物部位別死亡表		22

- 3	衛生課		
1	環境衛生関係	-----	2 3
	(1) 環境衛生関係営業施設の開業及び衛生指導	-----	2 3
	(2) 水道の普及促進	-----	2 3
	(3) 安全な飲料水の確保	-----	2 3
2	食品衛生関係	-----	2 5
3	薬事関係	-----	3 0
	(1) 許認可事務	-----	3 0
	(2) 監視指導	-----	3 0
	(3) 薬物乱用防止活動	-----	3 0
	(4) 不正大麻・けしの撲滅運動	-----	3 1
	(5) 献血事業推進	-----	3 1
	(6) 骨髄バンクドナー登録者	-----	3 1
- 4	監視指導課		
1	食品衛生関係	-----	3 3
	(1) 一般の監視	-----	3 3
	(2) 輸入食品の収去検査	-----	3 3
	(3) 夏期及び年末の食品一斉取締りに係る収去検査	-----	3 3
	(4) ノロウイルス等による食中毒対策	-----	3 3
	(5) 食の安全・安心に係るリスクコミュニケーションの実施	-----	3 3
2	環境衛生関係	-----	3 6
	(1) 旅館業	-----	3 6
	(2) 公衆浴場	-----	3 6
	(3) 遊泳用プール	-----	3 6
	(4) クリーニング所	-----	3 6
3	薬事関係	-----	3 7
	(1) 薬局，医薬品販売業等	-----	3 7
	(2) 毒物劇物営業者等	-----	3 7
- 5	健康増進課		
1	健康づくり・栄養改善事業の推進	-----	3 9
	(1) 「循環器疾患予防月間」の取組及び生活習慣病予防に関する普及啓発	-----	3 9
	(2) たばこ対策事業の推進	-----	3 9
	(3) いばらきヘルスロードのコース募集	-----	4 0
	(4) 市の健康増進事業への補助支援	-----	4 1
	(5) 令和元年度鹿行地域産業保健センター運営協議会への出席	-----	4 1
	(6) 健康情報の発信	-----	4 1
	(7) 食育月間の取り組み	-----	4 1
	(8) 「健康づくり支援店」登録制度の周知勧奨	-----	4 1
	(9) 栄養改善事業	-----	4 1
	(10) 管内食生活改善推進地区組織の育成支援	-----	4 3
	(11) 若い世代の食育推進事業	-----	4 3
	(12) 食育支援ネットワーク事業	-----	4 3

2	総合がん対策の推進	4 4
	(1) がんに関する正しい知識の普及啓発	4 4
	(2) がん予防・がん検診講習会の開催	4 4
	(3) がん検診推進事業	4 4
3	母子保健の充実	4 5
	(1) 総合母子保健・福祉相談指導事業の実施	4 5
	(2) 要支援妊産婦支援体制整備事業	4 6
	(3) 受胎調節実地指導員	4 7
	(4) 母子医療対策	4 7
	(5) 不妊治療費助成事業	4 8
	(6) 関係機関との連携	4 8
4	歯科保健の推進	4 8
5	難病対策	4 8
6	肝炎対策	5 9
- 6	保健指導課	
1	結核対策	6 1
2	疾病予防対策	6 3
	(1) 感染症予防対策	6 3
	(2) エイズ・性感染症予防対策	6 7
3	原子爆弾被爆者医療対策	6 8
4	精神保健福祉対策	6 9
	(1) 一般・老人精神保健相談及び薬物相談	6 9
	(2) 精神障害者の救急対応	6 9
	(3) ひきこもり対策推進事業	7 0
	(4) 心の健康づくり地域啓発推進事業	7 0
	(5) 精神障害者の地域定着及び地域移行支援	7 1
	(6) 自殺対策事業	7 1
5	アスベストによる健康被害対策	7 2
6	保健師の人材育成	7 2
	(1) 管内の統括的役割の保健師等による管内保健師代表者会議の開催	7 2
	(2) 管内保健師業務研究会	7 2
7	神栖市におけるヒ素汚染健康被害にかかる健康危機管理対策	7 2
	(1) 神栖ヒ素汚染健康相談室の対応	7 2
	(2) 緊急措置事業の実施	7 2
	○ 神栖市における飲用井戸ヒ素汚染の主な経過について	7 3
	○ 「茨城県神栖市における有機ヒ素化合物に係る環境汚染及び健康被害に係る緊急措置事業」概要	7 4
	(1) 趣旨・目的	7 4
	(2) 対象者	7 4
	(3) 緊急措置事業の内容	7 4

令和2年度事業推進の方針	-----	76
1 総務課・地域保健推進室		
(1) 鹿行保健医療福祉協議会の開催	-----	77
(2) 茨城県保健医療計画（第7次）の進行管理および地域医療構想の推進	-----	77
(3) 茨城県の高齢者福祉計画・介護保険事業支援計画に基づく市町村支援	-----	77
(4) 医療施設の立入検査	-----	77
(5) 救急医療体制の確保	-----	77
(6) 地域ケアシステム事業の推進	-----	78
(7) 介護保険制度の支援指導	-----	78
(8) 健康危機管理対策	-----	78
(9) 人口動態及び厚生統計	-----	78
(10) 在宅医療・介護連携推進事業	-----	78
2 衛生課		
(1) 環境衛生関係	-----	79
(2) 食品衛生関係	-----	79
(3) 薬事関係	-----	80
(4) 血液関係	-----	80
3 監視指導課		
(1) 食品衛生関係	-----	81
(2) 環境衛生関係	-----	81
(3) 薬事関係	-----	81
4 健康増進課		
(1) 健康づくり・栄養改善事業の推進	-----	83
(2) 総合がん対策事業の推進	-----	83
(3) 母子保健事業の推進	-----	84
(4) 歯科保健事業の推進	-----	84
(5) 難病対策の推進	-----	84
(6) 肝炎対策の推進	-----	84
5 保健指導課		
(1) 感染症対策の推進（結核を除く）	-----	86
(2) 結核対策の充実	-----	86
(3) 予防接種における誤接種時の対応	-----	86
(4) エイズ・STD対策の充実	-----	86
(5) 原子爆弾被爆者対策	-----	86
(6) アスベストによる健康被害対策	-----	86
(7) 精神保健福祉対策	-----	86
(8) 保健師の人材育成	-----	87
(9) 神栖市におけるヒ素汚染健康被害に対する健康危機管理対策	-----	87
令和2年度事務事業計画（上期分）	-----	88
令和2年度事務事業計画（下期分）	-----	89

第1 保健所の概要

1 管内の概況

(1) 位置及び地勢

当保健所の管轄区域は、本県の東南端に位置し、鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、銚田市の鹿行5市から成っている。管内は、東が太平洋（鹿島灘）、西が霞ヶ浦、中央には北浦、南は利根川を挟んで千葉県に接し、水と緑豊かな自然に恵まれ、南部の低地は肥沃な水郷地帯を形成している。北部は、北浦を縦に挟んで、平坦な畑作地帯が続いており、メロン・甘藷等農作物の全国有数の生産地である。管内の気候は温暖で寒暖の差が少ない。

(2) 管内の現況

従来は、農業・漁業の一次産業が中心の地域であったが、昭和40年代の鹿島臨海工業地帯の造成に伴い、鹿嶋市、神栖市を中心に一大重工業地帯へと変貌し、素材産業、農業・漁業、観光地（水郷潮来、鹿島灘、県立カシマサッカースタジアム等）が併存する地域となっている。

令和元年11月に、組織再編により銚田保健所と統合し、管内面積は754.47 km²、人口は268,540人となった。

(3) 交通

鉄 道 JR鹿島線（東京駅乗り入れ） 昭和45年開通

鹿島臨海鉄道（鹿嶋市～水戸市） 昭和59年開通

高速道路 東関東自動車道 昭和62年開通

主要道路 管内は、国道51号線、国道124号線、国道355号線及び県道水戸・神栖線（行方縦貫道路）等の主要道路が縦横に走っており陸路は整備されている。平成14年3月には、鹿嶋市から潮来市に至る国道51号バイパスと、鹿嶋市から神栖市に抜ける国道124号バイパスが開通した。東関東自動車道水戸線（茨城空港北 - 銚田間）が平成30年2月に開通し、より便利になっている。

・管内の面積、世帯数及び人口 (令和2年4月1日現在)

区分 市町名	面積 (km ²)	世帯数(世帯)	人口(人)	内 訳	
				男(人)	女(人)
鹿嶋市	106.02	28,694	67,080	34,846	32,234
潮来市	71.40	10,803	27,624	13,741	13,883
神栖市	146.97	40,494	95,321	49,414	45,907
行方市	222.48	11,413	32,305	15,991	16,314
銚田市	207.60	18,515	46,210	23,595	22,615
計	754.47	109,919	268,540	137,587	130,953

(茨城の人口と世帯(推計)より)

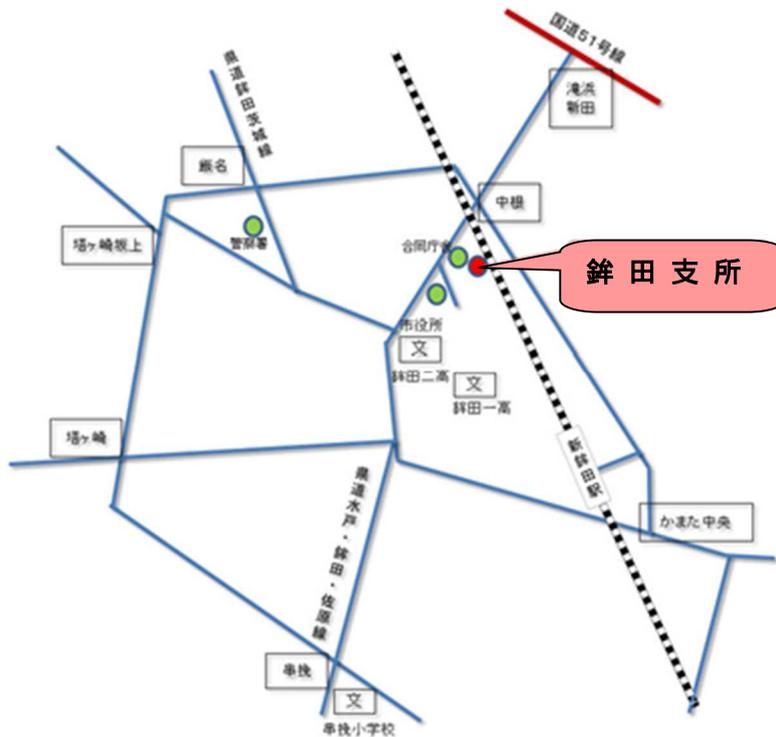
(4) 管内の略図・位置図



潮来保健所案内図



潮来保健所鉾田支所案内図

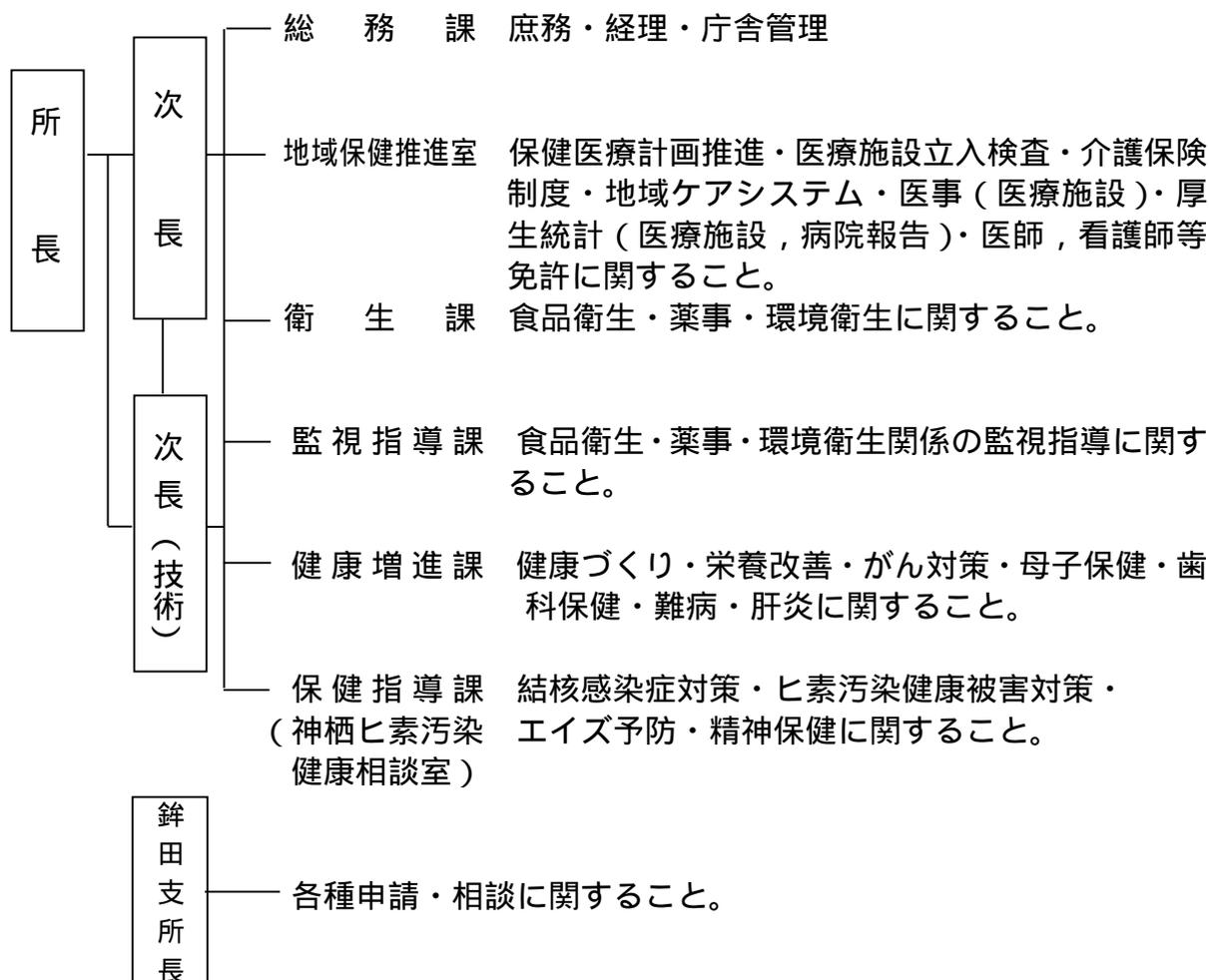


2 沿 革

- 昭和19年10月 保健所設置が許可され、潮来町大字潮来地内の民家（塚本平吉呉服店）を借上げ創設。
- ” 20年11月 潮来町外3町20ヶ村（鹿島郡の一部，行方郡の一部，稲敷郡の一部）が管轄区域となる。
- ” 22年4月 警察より衛生事務が移管される。
- ” 24年1月 課制が施行され庶務課，保健予防課の2課制となる。
- ” 26年7月 潮来町大字潮来643-3に庁舎を新築移転する。
- ” 27年5月 優生保護法の改正に伴い「優生保護相談所」を併設する。
- ” 34年8月 衛生課を設置し，3課制となる。
- ” 35年6月 波崎支所（民家借上げ）発足。
- ” 37年6月 波崎町5397-2に波崎支所を新築。
- ” 43年7月 保健婦室を設置し，3課1室制となる。
- ” 47年6月 公害室を設置し，3課2室制となる。
- ” 51年6月 獣医務室を設置し，3課3室制となる。
- ” 53年3月 潮来町大字大洲1446-1に現庁舎完成。
- ” 54年5月 獣医務室が廃止され，3課2室制となる。
- ” 55年4月 波崎支所廃止される。
- 平成2年4月 機構改革に伴い，保健婦室・公害室が廃止され，健康増進課・保健指導課・監視指導課が設置され，5課制となる。
- ” 6年4月 機構改革により，総務課内に地域保健推進室を設置及び検査課を設置し6課1課内室制となる。
- ” 8年9月 優生保護法の改正により「優生保護相談所」を廃止する。

- " 11年 4月 機構改革により検査課が廃止され，5課1課内室制となる。
- " 13年 4月 潮来市（潮来町と牛堀町の合併）の市制施行により，当所管内は，鹿嶋市，潮来市，鹿島郡神栖町，波崎町及び行方郡麻生町の2市3町となる。
当所所在地 潮来市大洲1446-1となる。
- " 17年 8月 神栖市（神栖町と波崎町の合併）の市制施行により，当所管内は3市1町となる。
- " 17年 9月 行方市（麻生町・北浦町・玉造町の合併）の市制施行に伴い，麻生町は銚田保健所管轄となり，当所管内は鹿嶋市・潮来市・神栖市の3市となる。
- " 21年 4月 総務事務の特定保健所への一部集約により，銚田保健所（銚田市・行方市）の業務の介護保険，衛生統計及び給与事務の一部を担当することとなる。
- " 25年 4月 神栖ヒ素汚染健康相談室を設置する。
- " 25年 7月 太陽光発電設備を設置する。
- " 28年 4月 地域保健推進室業務集約により銚田保健所（銚田市・行方市）の医事事務等を潮来保健所が兼務することとなる。
- 令和 元年11月 組織再編により銚田保健所と統合し，当所管内は鹿嶋市・潮来市・神栖市・行方市・銚田市の5市となる。
銚田市銚田1367-3（旧銚田保健所庁舎）に，各種申請・相談窓口として銚田支所を設置する。

3 保健所の組織機構及び主な業務



課(室)別職員

(令和2年4月1日現在)

課 別	区 分	総 員	内 訳			会計年度任用 用職員
			事 務 職	技 術 職	技能労務職	
総 務 課		3人	2人	1人		1人(事務)
	地域保健推進室	5人	4人	1人		
衛 生 課		6人	1人	5人		
監 視 指 導 課		5人	2人	3人		
健 康 増 進 課		6人	4人	2人		2人(事務)
保 健 指 導 課		9人	1人	8人		1人(事務)
銚 田 支 所		4人	2人	2人		1人(事務)
計		38人	16人	22人		5人

所長は総務課に含む (育休等除く)

4 保健所運営関係

(1) 鹿行保健医療福祉協議会委員 (任期 = R1.12.1 ~ R3.11.30)

(R1.12.1 現在)

区 分	氏 名	役 職 名
学 識 経 験 者	西 條 昌 良	県議会議員
	藤 島 正 孝	県議会議員
市 町 村	原 浩 道	潮来市長
	寺 門 利 幸	銚田市副市長
医 師 会	松 倉 則 夫	一般社団法人鹿島医師会会長
	飯 島 福 生	一般社団法人水郷医師会会長
歯 科 医 師 会	大 貫 英 敏	一般社団法人鹿行歯科医師会会長
薬 剤 師 会	加 藤 和 弘	潮来薬剤師会会長
医 療 分 野	亀 田 尚 徳	土浦協同病院なめがた地域医療センター院長
	高 崎 秀 明	神栖済生会病院院長
	神 尾 政 彦	公益財団法人鹿島病院理事長
看 護 協 会	吉 田 智 子	公益社団法人茨城県看護協会鹿行地区理事
食 品 協 会	黒 岩 辰 雄	潮来食品衛生協会会長
食 生 活 改 善	田 崎 紀 子	銚田保健所管内食生活改善推進員協議会会長
福 祉 分 野	橋 本 重 彦	鹿嶋市連合民生委員・児童委員協議会会長
	竹 内 光 日 出	神栖市社会福祉協議会常務理事
	郡 司 昌 弘	行方市介護支援専門員連絡協議会会長
住 民 代 表	梶 山 正 子	神栖市地域自立支援協議会会長
消 防	鈴 木 周 也	鹿行広域事務組合消防本部消防長事務取扱
警 察	渡 辺 恭 秀	鹿嶋警察署長

(2) 茨城県銚田・潮来保健所感染症診査協議会委員(任期 = H31.4.1 ~ R2.3.31)

(H31.4.1 現在)

氏 名	所属・役職
神 尾 政 彦	鹿島病院理事長
飯 島 福 生	飯島内科院長
内 田 義 之	さんくりにつく院長
齋 藤 碧	弁護士法人リーガルプラス かしま法律事務所
早 川 緑	鹿嶋人権擁護委員協議会
清 水 豊	鹿島病院
松 田 かおり	さくらクリニック院長

(3) 非常勤特別職員

(R2.4.1 現在)

氏 名	所属・役職
高 濱 浩 輔	鹿島病院長
宮 本 洋	つくば病院

(4) 鹿行保健医療圏地域医療構想調整会議委員（任期 = R1.8.1 ~ R3.7.31）

(R1.8.1 現在)

区 分	氏 名	役 職 名
医 師 会	松 倉 則 夫	一般社団法人鹿島医師会会長
	飯 島 福 生	一般社団法人水郷医師会会長
歯 科 医 師 会	大 貫 英 敏	一般社団法人鹿行歯科医師会会長
薬 剤 師 会	加 藤 和 弘	潮来薬剤師会会長
看 護 協 会	吉 田 智 子	公益社団法人茨城県看護協会鹿行地区理事
病 院 協 会	高 須 伸 克	高須病院院長
保 険 者	酒 井 充	全国健康保険協会茨城支部
福祉関係団体	竹 内 光 日 出	神栖市社会福祉協議会常務理事
介 護 事 業 者	郡 司 昌 弘	行方市介護支援専門員連絡協議会会長
住 民 代 表	梶 山 正 子	神栖市地域自立支援協議会会長
市 町 村	鈴 木 周 也	行方市長
	寺 門 利 幸	鉾田市副市長
	錦 織 孝 一	鹿嶋市長
	原 浩 道	潮来市長
	石 田 進	神栖市長
保 健 所	石 田 久 美 子	茨城県潮来保健所長
基 幹 病 院 等	亀 田 尚 徳	土浦協同病院なめがた地域医療センター院長
	高 崎 秀 明	神栖済生会病院院長
	神 尾 政 彦	公益財団法人鹿島病院理事長
	鈴 木 善 作	白十字総合病院院長
	横 田 廣 夫	鉾田病院院長
	小 山 典 宏	小山記念病院理事長
	島 正 美	島医院院長
消 防	鈴木 周也	鹿行広域事務組合消防本部消防長事務取扱
	伊藤 幸一	鹿島地方事務組合消防本部消防長

5 保健所の健康相談

健康相談日程表

(R2.4.1 ~)

曜 日	午 前	午 後	
月 曜	水質検査 [月曜日 9:00 ~ 11:00] 細菌検査 [月曜日 9:00 ~ 11:00]	夜間検査(性感染症・肝炎ウイルス 検査・相談)【予約制】 [毎月第1月曜日 17:00 ~ 19:00]	
火 曜	性感染症検査・相談(予約制) [エイズ, クラミジア, 梅毒] [毎週 火曜日 10:00 ~ 11:00] 肝炎ウイルス検査・相談(予約制) [B型, C型肝炎ウイルス] [毎週 火曜日 10:00 ~ 11:00]	発達相談 【予約制】 [発達検査: 毎月1回 火曜日 医師相談: 偶数月1回 火曜日 13:00 ~ 16:00]	
水 曜		ひきこもり相談 【予約制】 [毎月第1水曜日 14:00 ~ 16:00]	
木 曜		精神保健相談 【予約制】 [毎月2回 木曜日 13:00 ~ 15:00]	
金 曜		薬物相談 (予約制) [第4金曜日 13:00 ~ 16:00]	
随 時	食 品 衛 生 不妊治療費助成 薬 物 乱 用	母 子 保 健 難 病 結 核	栄 養 精 神 保 健 感 染 症 小児慢性特定疾病 ひきこもり 肝炎治療費助成

6 平成31年(令和元年)度経理状況

【潮来保健所分】

歳 入 (単位：円)

科 目	調定額	収入済額	収入未済額	備考
08 使用料及び手数料	113,208	113,208	0	
10 財産収入	1,300	1,300	0	
14 諸収入	74,520	74,520	0	
計	189,028	189,028	0	

歳 出 (単位：円)

科 目	令達額	支出額	不用額	備考
02 総務費	988,700	988,700	0	
04 生活環境費	150,000	150,000	0	
05 保健福祉費	92,352,213	92,352,213	0	
計	93,490,913	93,490,913	0	

【鉾田保健所分】

歳 入 (単位：円)

科 目	調定額	収入済額	収入未済額	備考
08 使用料及び手数料	17,478	17,478	0	
計	17,478	17,478	0	

歳 出 (単位：円)

科 目	令達額	支出額	不用額	備考
02 総務費	39,960	39,960	0	
05 保健福祉費	6,266,907	6,266,907	0	
計	6,306,867	6,306,867	0	

第2 事務事業の執行状況

第2-1 総務課

1 庶務

予算の執行管理，庁舎・公有財産の維持管理，文書・情報システムの管理，職員の給与・福利厚生・サービス・事務改善等の事務を行った。

令和元年度は，令和元年11月1日から銚田保健所との統合にあたり，庁舎改修及び移管等に伴う事務を行った。

第2-2 地域保健推進室

1 鹿行保健医療福祉協議会の開催

鹿行保健医療圏域の施策の円滑化と充実を図るため，鹿行保健医療福祉協議会を開催し，保健・医療・福祉関係者から意見を求め，鹿行地域の実情を踏まえた総合的な保健医療施策を計画的に推進し，健康で安全・安心な地域づくりをめざすために，協議を行った。

2 鹿行保健医療圏における地域医療構想調整会議の開催

二次医療圏を構想区域とした地域医療構想調整会議を開催し，医療計画において定める将来の病床数を達成するための方策，その他平成28年12月に策定された地域医療構想の達成を推進するために，協議を行った。

1 鹿行保健医療福祉協議会

2 鹿行保健医療圏における地域医療構想調整会議

3 鹿行保健医療圏における災害保健医療対策協議会

	開催日	場 所	議 題
会議	令和元年 5月30日 (2,3合同 第1回)	潮来保健所 大会議室 出席者58名	(1)地域医療構想の進捗状況について (2)災害保健医療対策について (3)在宅医療検討ワーキング会議について
	令和元年 9月26日 (2,3合同 第2回)	潮来保健所 大会議室 出席者54名	(1)地域医療構想の進捗状況について (2)外来医療計画について (3)災害保健医療対策について
	令和2年 3月11日 (1及び2,3合同 第3回)	潮来保健所 大会議室 出席者70名	(1)地域医療構想の進捗状況について (2)災害保健医療対策について (3)健康増進法一部改正「望まない受動喫煙防止」 について (4)新型コロナウイルス感染症への対応について (5)報告：外来医療計画・医師確保計画について)

ワーキング会議	令和元年 12月5日 第1回在宅医療検討ワーキング会議	潮来保健所 大会議室 出席者35名	(1)令和元年度在宅医療検討ワーキング会議における普及啓発事業の実施結果について (2)救急情報シート及び緊急時情報セットの普及啓発について (3)DNARプロトコル策定に伴う問題点について (4)地域包括ケアにおける災害対応について
研修会	令和元年 7月11日 在宅医療検討ワーキング会議に係る研修会	潮来保健所 大会議室 出席者43名	(1)講演「高齢者の救急時対応について」 講師 鹿行地区メディカルコントロール協議会 相談役 鶴岡信 医師 (管内市介護予防事業担当者研修会にて実施)
	令和元年 8月9日 在宅医療検討ワーキング会議に係る研修会	レイクエコー 大研修室 出席者97名	令和元年度ACP(人生会議)に関する研修会 (1)講演「多職種で支える意思決定 ～もしもの時の話し合い～人生会議」 (2)ロールプレイ ～ACPの実践を学ぶ～ 講師 神栖済生会病院内科医長 細井崇弘 医師

3 健康危機管理

平時からの備えとして、日常的な感染症対策や監視業務を通じて健康危機の発生防止に努めた。また、健康危機発生時の備えとして、健康危機管理に関する情報収集、健康危機管理マニュアル及び業務継続計画の見直し、健康危機に対応できる組織体制の整備及び関係機関との連携強化を図った。

(1)令和元年度保健福祉部防災訓練（令和元年7月1日実施）において、管内病院の被災状況をEMIS(広域災害救急医療情報システム)で確認し、防災FAXで県厚生総務課へ報告する訓練を行った。また、今回は管内の透析医療機関及び透析基幹病院と連携し、被災状況の確認や透析患者の転院調整等、透析医療の確保に係る訓練も同時に行った。

(2)平成26年度から、平時からの医療関係機関との連絡体制の強化を図ることを目的に、鹿行保健医療圏における災害保健医療対策協議会を設置している。今年度は、3回にわたり同協議会を開催した。また、在宅医療検討ワーキング会議の中で、同協議会委員に加え市や訪問看護ステーション等の関係者と共に地域包括ケアにおける災害対応について協議した。

開催日	場 所	会 議 名 / 議 題
令和元年 5月30日	潮来保健所 大会議室 出席者58名()	第1回 災害保健医療対策協議会 ・災害拠点病院の指定替えについて ・地域災害医療コーディネーターの委嘱について ・避難行動要支援者の避難行動支援について

令和元年 9月26日	潮来保健所 大会議室 出席者54名()	第2回 災害保健医療対策協議会 ・台風15号の災害対応について ・災害拠点病院の指定について ・関東ブロックDMAT訓練について
令和元年 12月5日	潮来保健所 大会議室 出席者35名()	第1回 在宅医療検討ワーキング会議 ・台風19号の災害対応について ・避難行動要支援者の避難行動支援について
令和2年 3月11日	潮来保健所 大会議室 出席者70名()	第3回 災害保健医療対策協議会 ・協議会要項の改正について ・災害時の組織体制について

保健医療福祉協議会委員，地域医療構想調整会議委員，事務局を含む

4 医事事務

医療法，医療法施行令等に基づき，病院，診療所及び歯科診療所等から提出される各種許可申請（届）の事務処理を行い，適正な医療体制が確保されるよう指導した。

「あ・は・き」とは，あん摩・マッサージ・指圧・はり・きゅうの施術所
医療関係施設数 (令和2年4月1日現在)(単位：箇所)

区分 市名	病 院	一 般 診療所	歯 科 診療所	助産所	施 術 所	
					柔道整復	あ・は・き
鹿 嶋 市	4	38	26	0	18	37
潮 来 市	0	14	17	0	9	22
神 栖 市	4	37	38	1	35	46
行 方 市	1	15	9	0	6	15
銚 田 市	2	19	18	1	9	21
合 計	11	123	108	2	77	141

備考：11病院の病床数 1,716床（精神＝178床，療養＝591床，一般＝941床，結核＝2床，感染症＝4床）

5 医療施設の立入検査

医療施設における適切な医療を確保するため，医療法第25条に基づき，病院・診療所に対し立入検査を実施した。

種 別	立入検査数	実 施 期 間
病 院	11	令和元年10月～12月 令和元年6月～8月
診 療 所	31	
歯科診療所	26	

6 医療従事者数

(平成30年12月31日現在)

区 分 市	医 師	歯 科 医 師	薬 剤 師	保 健 師	助 産 師	看 護 師	准 看 護 師	計
鹿 嶋 市	102	43	113	24	30	429	252	993
潮 来 市	13	20	23	16	0	37	37	146

神 栖 市	91	48	201	35	12	478	165	1,030
計	206	111	337	75	42	944	454	2,169
人口 10 万対	107.9	58.1	176.4	39.3	22.0	494.2	237.7	1,135.6
行 方 市	32	10	41	16	1	168	76	344
鉾 田 市	24	18	42	23	1	85	98	291
計	56	28	83	39	2	253	174	635
人口 10 万対	69.9	34.9	103.6	48.7	2.5	315.7	217.1	792.3
茨 城 県	5,682	1,954	6,604	1,155	740	22,024	7,096	45,255
人口 10 万対	1,957.5	67.9	229.5	40.1	25.7	765.5	246.6	1,573.0
全 国	327,210	104,908	311,289	52,955	36,911	1,218,606	304,479	2,356,358
人口 10 万対	258.8	83.0	246.2	41.9	29.2	963.8	240.8	1863.6

(注1) 従業地による

(注2) 医師・歯科医師は医療施設従事者，薬剤師は薬局・医療施設従事者，その他は就業者

資料「平成30年 茨城県医師・歯科医師・薬剤師調査の概況」(茨城県保健福祉部厚生総務課)

資料「平成30年 医師・歯科医師・薬剤師調査の概況」(厚生労働省大臣官房統計情報部)

資料「保健師助産師看護師の現状 平成30年度」(茨城県保健福祉部)

資料「平成30年 保健・衛生行政業務報告(衛生行政報告例)結果(就業医療関係者)の概況」(厚生労働省大臣官房統計情報部)

7 救急医療

(1) 救急告示医療機関の認定

救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき，6病院が「救急病院」に認定されており，令和元年度中に有効期限を迎えた高須病院について認定申請の審査等を実施した。

医療機関名	所在地	診療科名	有効期限
小山記念病院	鹿嶋市厨5丁目1番地2	内，呼内，消内，循環内，腎内，糖尿内，漢方内，外，乳腺外，整外，形外，脳外，呼吸外，心臓血管外，消外，胸外，皮，泌，産婦，眼，リハビリ，麻酔，放，歯，歯口腔外	令和2年12月4日
白十字総合病院	神栖市賀2148	内，呼内，消内，循環内，リハビリ，外，整外，脳外，呼外，消外，乳腺外，皮，泌，こう門外，産婦，眼，耳，リハビリ，放，リハビリ，小児，麻酔，歯，小児歯科	令和2年12月4日
神栖済生会病院	神栖市知手中央7-2-45	内，呼内，消内，循環内，肝臓内，小児，外，消外，乳腺外，内分泌外，内視鏡外，大腸・肛門外，整外，形外，皮，泌，腎内(透析)，婦人，眼，耳，リハビリ，放，麻酔	令和2年12月4日
鉾田病院	鉾田市安房1650-2	内，神内，小児，外，整外，脳外，皮，泌，眼，耳，リハビリ，麻酔，循内，漢方，消外	令和2年12月4日
高須病院	鉾田市鉾田2570	内，小児，外，整外，泌，耳，消内，循内，呼内，糖尿病内，救急，神内	令和5年1月9日

土浦協同病院なめがた地域医療センター	行方市井上 藤井 98-8	内，アレルギー，小児，外，整外，脳外，皮膚，泌，産婦，眼，耳，リハビリ，放射，麻酔，消内，循内，臨床検査，腎内，救急，神内，血内，病理診断，呼内，内分泌内	令和4年 3月28日
--------------------	------------------	---	---------------

(2) 病院群輪番制会議への参加

休日及び夜間における救急患者に対する医療の確保を図るため，鹿行南部及び鉾田地域において病院群輪番制を実施している。

* 輪番制協力病院（「救急告示医療機関」と同じ）

【鹿行南部】

小山記念病院・白十字総合病院・神栖済生会病院

【鉾田地域】

鉾田病院・小美玉市医療センター・土浦協同病院なめがた地域医療センター・高須病院

8 介護保険制度の推進に関する指導支援

(1) 介護認定調査従事者研修会の開催

認定調査に従事する者が，要介護認定における公平・公正かつ適正な認定調査を実施するために必要な知識と技能の習得等を目的とした研修会を開催した。

区分	開催年月日	場所	受講者
認定調査員 研修	平成31年 4月25日	茨城県市町村会館講堂	190名
	令和元年 5月22日	茨城県市町村会館講堂	187名
	令和元年 8月 6日	茨城県立健康プラザ大会議室	67名
	令和元年 9月 4日	茨城県立健康プラザ大会議室	66名
	令和2年 1月17日	レイクエコー大研修室	111名

(2) 介護保険施設等指導監査の実施

介護保険法に基づき，介護保険事業の運営が健全かつ円滑に行われるよう該当事業所に対し指導を行った。

令和元年度

事業所種類	施設数	実地指導 件数	改善命令等 件数
訪問介護	5	1	
訪問看護	11	2	
訪問リハビリ	3	1	
通所介護	3	1	1
通所リハビリ	12	1	
短期入所療養介護	12	2	1

特定施設入居者生活介護	1		
福祉用具貸与	1		
介護老人保健施設	13	2	
介護予防訪問看護	10	2	
介護予防訪問リハビリ	3	1	
介護予防通所リハビリ	12	1	
介護予防短期入所療養介護	12	2	1
介護予防特定施設入居者生活介護	1		
介護予防福祉用具貸与	1		

(3) 市町村介護予防事業担当者研修

介護予防事業の円滑かつ効果的な推進と、平成29年4月から実施されている管内各市における日常生活支援総合事業の平準化を図るため、介護予防事業担当者に対する研修会を実施した。

開催日	場所	参加者	内 容
令和元年 7月11日	潮来保健所 大会議室	43名	講演「摂食嚥下リハビリテーションの 実際について」 講演「高齢者の救急時対応について」

(4) 介護保険事業に関する支援

各市の地域包括支援センター運営協議会等に出席し、当該センターが円滑かつ適正な運営を図れるよう情報提供及び助言を行い、その支援に努めた。

市名	会 議 名 等	回数	支 援 内 容
鹿嶋市	地域包括支援センター運営協議会	3回	地域包括支援センター運営に係る助言等
鹿嶋市	高齢者施策推進会議	1回	第7期はつらつ長寿プラン2-1推進に係る助言等
神栖市	地域包括支援センター運営協議会及び地域密着型サービス運営委員会	4回	地域包括支援センター運営に係る助言等

9 医学生等に対する保健所実習指導

医学生及び看護学生に対し、保健所の組織・業務及び事業概要、公衆衛生、地域の保健衛生の現状等について、実習指導を行った。

名 称	実 習 生	実施期間
茨城県立医療大学（看）	12名（4年生）	平成31年4月24日（合同研修） 令和元年5月7日～5月9日（A班） 令和元年5月28日～5月30日（B班）
筑波大学（医）	7名（4年生）	令和元年6月18日～6月27日

10 地域ケアシステム推進事業

保健・医療・福祉の連携により，高齢者や障がい者等の在宅ケアを推進するため，各市の地域ケアシステムサービス調整会議等へ出席し助言等を行い，その支援に努めた。

市名	実施主体	事業開始年度	支援回数
銚田市	銚田市介護保険課		6
行方市	行方市地域包括支援センター	平成17年度	4

11 地域リハビリテーション体制強化事業

県が指定する地域リハ・ステーション及び地域リハビリテーション広域支援センターに対し，補助金を交付しその運営を支援した。

(1)地域リハ・ステーションの活動

施設名	活動内容
公益財団法人 鹿島病院	(1)地域リハビリテーション広域支援センター及び関係機関 情報共有のための連絡会議への出席 (2)地域住民を対象とした介護予防教室（テーマ：腰の痛みの原因と対策について）を開催

12 普及啓発事業

エフエムかしま市民放送（番組名：「食と健康」）において，健康に関する啓発及びイベント等のPRに努めた。

放送月	内容（テーマ）	担当
4月	潮来保健所の業務について	地域保健推進室
	禁煙について	健康増進課
5月	「ダメ。ゼッタイ。」普及運動について	衛生課
	難病対策について	保健指導課
6月	食育について	健康増進課
	熱中症について	地域保健推進室
7月	献血について	衛生課
	肝炎対策について	保健指導課
8月	食中毒予防について	衛生課
	健康増進普及月間について	健康増進課
9月	救急の日について	地域保健推進室
	結核について	保健指導課
	がん検診について	健康増進課
10月	麻薬・覚せい剤乱用防止運動について	衛生課
	児童虐待防止について	健康増進課
11月	エイズ・性感染症について	保健指導課
	食中毒予防(ノロウイルス等)について	衛生課

12月	冬期の感染症について(インフルエンザ・ノロウイルス等)	保健指導課
	「はたちの献血」キャンペーンについて	衛生課
1月	冬期の感染症について(インフルエンザ・ノロウイルス等)(再)	保健指導課
2月	「はたちの献血」キャンペーンについて(再)	衛生課
	食中毒予防(ノロウイルス等)について(再)	衛生課
3月	自殺予防について	保健指導課
	麻しん風しんの予防接種について	保健指導課

13 苦情・相談

保健医療に関する苦情・相談件数は以下のとおりであり、迅速に対応するとともに適切な処理に努めた。

・医療機関の治療等に関するもの	24件
・介護保険に関するもの	0件
・その他	1件

14 人口動態及び厚生統計業務

衛生行政施策の基礎資料とするため、出生死亡等の人口動態、病院の入退院状況及び各種厚生統計を集計し、国及び本庁に報告した。

- (1) 人口動態調査
- (2) 医療施設動態調査
- (3) 保健統計調査「病院報告、地域保健・健康増進事業報告、衛生行政報告例」
- (4) 国民生活基礎調査

15 医療関係従事者免許申請事務

医師、看護師、准看護師等医療関係従事者の免許申請に係る事務処理を行った。

医療関係従事者免許取扱状況

(令和元年度)

(単位：件)

種 別	新 規	書 換	再交付	抹 消	合 計
医 師	5	0	0	1	6
歯 科 医 師	1	0	0	2	3
診療放射線技師	5	0	0	0	5
臨床検査技師	11	2	1	0	14
衛生検査技師	0	0	0	0	0
理学療法士	18	8	0	0	26
作業療法士	5	3	0	0	8
視能訓練士	1	1	0	0	2
歯科技工士	0	0	0	0	0
小 計	46	14	1	3	64
保 健 師	5	7	1	0	13
助 産 師	4	2	0	0	6
看 護 師	79	48	4	0	131

小 計	88	57	5	0	150
合 計	134	71	6	3	214
准 看 護 師	27	17	8	0	52

16 在宅医療・介護連携推進事業

保健所は、鹿島医師会が事業主体となり関係機関の協力のもとに進めた「在宅医療・介護連携拠点事業」に対して、事務局として支援してきた（平成26、27年度）。平成28年度からは、鹿行5市がこの拠点事業を引き継ぎ、介護保険の地域支援事業として「在宅医療・介護連携推進事業」に取り組んでいる。市の要請に応じて、本事業に係る市主催の会議、意見交換会、研修会等に参加し、支援に努めている。さらに、鹿行管内の5市の事業推進に資するために、5市の情報交換会を開催した。

(1) 鹿行管内 5 市の在宅医療・介護連携推進事業に係る情報交換会

開催日	場 所	出席者	内 容
令和元年 12月5日	潮来保健所 2階大会議室	24名 (関係機関, 各市)	各市の取り組み状況報告および 意見交換 (令和元年度は、在宅医療検討ワー キング会議内にて実施)

(2) 市による在宅医療・介護連携推進事業に対する支援

鹿嶋市在宅医療・介護連携推進事業意見交換会

令和元年6月13日、9月19日、令和2年1月10日、2月21日

鹿嶋市在宅医療・介護連携推進事業 講演会・研修会

令和元年7月29日、12月11日

潮来市・行方市在宅医療・介護連携推進講演会・シンポジウム

令和元年10月20日

銚田市在宅医療・介護連携推進協議会

令和元年7月2日、10月21日

○鹿行地区在宅医療推進・多職種研修会

令和元年10月30日、令和2年2月5日

(3) 医療提供施設等グループ化推進事業の支援

* 鹿島医師会による、地域で支え合う医療機関の連携体制を構築するためのグループ化の取組に対し、平成30年度に補助金を交付し、令和元年度においても鹿島医師会及び医療機関と連携し、必要に応じてその運営を支援した。

(神栖地区チーム医療機関)

神栖済生会病院、永木外科胃腸科医院、かしまなだ診療所、にへいなかよしクリニック、かみす中央メディカルクリニック（令和元年度より参入）

(参考資料)
平成30年 人口動態総覧

区分	日本人 人口	出生				死亡				自然増				乳児死亡				新生児死亡		死産				周産期死亡			婚姻		離婚				
		総 数	男	女	出生 率 (人口千対)	総 数	男	女	死亡 率 (人口千対)	総 数	男	女	増 加 率 (人口千対)	総 数	男	女	死 亡 率 (出生千対)	死 亡 率 (出生千対)	総 数	死 産 率 (出生千対)	総 数	死 産 率 (出生千対)	総 数	死 産 率 (出生千対)	総 数	妊 娠 満 2 週 以 後 の 死 産	早 期 新 生 児 死 亡	周 産 期 死 亡 率 (出生千対)	件 数	結 婚 率 (人口千対)	件 数	離 婚 率 (人口千対)	
																																	総 数
全 国	124,218,285	918,400	470,851	447,549	7.4	1,362,470	699,138	663,332	11.0	444,070	228,287	215,783	3.6	1,748	932	816	1.9	801	0.9	19,614	20.9	9,252	9.9	10,362	11.0	2,999	2,385	614	3.3	586,481	4.7	208,333	1.7
茨 城 県	2,829,000	19,368	9,879	9,489	6.8	32,927	17,344	15,583	11.6	13,559	7,465	6,094	4.8	51	30	21	2.6	24	1.2	420	21.2	204	10.3	216	10.9	93	74	19	4.8	12,332	4.4	4,751	1.7
潮来保健所	187,517	1,464	733	731	7.8	1,942	1,057	885	10.4	478	324	154	2.5	3	2	1	2.0	2	1.4	33	22.0	18	12.0	15	10.0	9	7	2	6.1	928	4.9	376	2.0
鹿 嶋 市	66,705	478	251	227	7.2	691	386	305	10.4	213	135	78	3.2	1	1	0	2.1	1	2.1	8	16.5	4	8.2	4	8.2	4	3	1	8.3	313	4.7	126	1.9
潮 采 市	27,844	165	82	83	5.9	363	187	176	13.0	198	105	93	7.1	0	0	0	0.0	0	0.0	5	29.4	2	11.8	3	17.6	0	0	0	0.0	107	3.8	40	1.4
神 橋 市	92,968	821	400	421	8.8	888	484	404	9.6	67	84	17	0.7	2	1	1	2.4	1	1.2	20	23.8	12	14.3	8	9.5	5	4	1	6.1	508	5.5	210	2.3
鉾田保健所	77,497	399	203	196	5.1	1,296	699	597	16.7	897	496	401	11.6	0	0	0	0.0	0	0.0	8	19.7	3	7.4	5	12.3	0	0	0	0.0	266	3.4	119	1.5
行方市	32,554	169	92	77	5.2	573	319	254	17.6	404	227	177	12.4	0	0	0	0.0	0	0.0	5	28.7	2	11.5	3	17.2	0	0	0	0.0	95	2.9	42	1.3
鉾田市	44,943	230	111	119	5.1	723	380	343	16.1	493	269	224	11.0	0	0	0	0.0	0	0.0	3	12.9	1	4.3	2	8.6	0	0	0	0.0	171	3.8	77	1.7

厚労省「平成30年(2018)人口動態統計(確定数)の概況」,「平成30年茨城県人口動態統計(確定数)の概況」より

(参考資料)

最近年における潮来保健所管内の人口動態の推移（H18 -H30）

区分 年	日本人 人口 (管内)	出生			死亡			自然増			乳児死亡			新生児死亡			死産 実数 (管内)	婚姻 実数 (管内)	離婚								
		実数 (管内)	率（人口千対）		実数 (管内)	率（人口千対）		実数 (管内)	率（人口千対）		実数 (管内)	率（出生千対）		実数 (管内)	率（出生千対）				実数 (管内)	率（人口千対）							
			管内	県		全国	管内		県	全国		管内	県		全国	管内				県	全国	管内	県	全国			
18	185,177	1,807	9.8	8.6	8.7	1,513	8.2	8.9	8.6	294	1.6	0.3	0.1	2	1.1	2.6	2.6	0	0.0	1.3	1.3	61	1,139	469	2.5	2.0	2.0
19	186,095	1,763	9.5	8.5	8.6	1,491	8.0	9.0	8.8	272	1.5	0.5	0.1	7	4.0	3.2	2.6	3	1.7	1.8	1.3	52	1,194	494	2.7	2.0	2.0
20	186,840	1,823	9.8	8.4	8.7	1,610	8.6	9.4	9.1	213	1.1	1.0	0.4	3	1.6	2.5	2.6	0	0.0	1.2	1.2	62	1,184	494	2.6	2.0	2.0
21	187,420	1,833	9.8	8.3	8.5	1,627	8.7	9.5	9.1	206	1.1	1.2	0.6	7	1.6	2.2	2.4	2	1.1	0.9	1.2	57	1,155	502	2.7	1.9	2.0
22	187,506	1,786	9.5	8.2	8.5	1,696	9.0	9.8	9.5	90	0.5	1.6	1.0	6	3.4	2.5	2.3	2	1.1	1.5	1.1	42	1,106	426	2.3	1.9	2.0
23	187,068	1,721	9.2	8.0	8.3	1,747	9.3	10.2	9.9	26.0	0.1	2.3	1.6	3	1.7	2.4	2.3	1	0.6	1.1	1.1	47	1,062	402	2.1	1.7	1.9
24	187,094	1,756	9.4	7.9	8.2	1,755	9.4	10.3	10.0	1	-	2.4	1.7	7	4.0	2.7	2.2	2	1.1	1.1	1.0	52	1,091	424	2.3	1.8	1.9
25	186,548	1,595	8.6	7.7	8.2	1,760	9.4	10.5	10.1	165.0	0.9	2.8	1.9	5	3.1	2.5	2.1	3	1.9	1.4	1.0	36	1,065	420	2.3	1.7	1.8
26	186,270	1,614	8.7	7.6	8.0	1,847	9.9	10.5	10.1	233.0	1.3	2.9	2.1	3	1.9	2.7	2.1	1	0.6	1.4	0.9	44	1,077	406	2.2	1.7	1.8
27	186,548	1,661	8.8	7.5	8.0	1,817	9.7	10.8	10.3	156	0.8	3.2	2.3	0	0.0	2.4	1.9	0	0.0	1.0	0.9	32	953	409	2.2	1.8	1.8
28	187,902	1,530	8.1	7.3	7.8	1,893	10.1	11.0	10.5	363	1.9	3.7	2.6	3	2.0	1.9	2.0	1	0.7	1.0	0.9	37	995	388	2.1	1.7	1.7
29	187,857	1,478	7.9	7.2	7.6	1,910	10.2	11.3	10.8	432	2.3	4.2	3.2	2	1.4	2.2	1.9	2	1.4	1.0	0.9	37	979	396	2.1	1.6	1.7
30	187,517	1,464	7.8	6.8	7.4	1,942	10.4	11.6	11.0	478	2.5	4.8	3.6	3	2.0	2.6	1.9	2	1.4	1.2	0.9	33	928	376	2.0	1.7	1.7

厚労省「平成30年（2018）人口動態統計（確定数）の概況」，「平成30年茨城県人口動態統計（確定数）の概況」
組織再編による保健所の統合は令和元年11月のため，鉾田保健所管内（鉾田市・行方市）は含まない。

(参考資料)

平成30年 選択死因の死亡順位(第10位まで), 死亡実数, 死亡割合

		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	全死因の総数
全国	死因	悪性新生物	心疾患 (高血圧性を除く)	老衰	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故	腎不全	自殺	大動脈瘤及び解離	慢性閉塞性肺疾患	1,362,470
	実数	373,584	208,221	109,605	108,186	94,661	41,238	26,081	20,031	18,803	18,577	
	割合(%)	27.4	15.3	8.0	7.9	6.9	3.0	1.9	1.5	1.4	1.4	
茨城県	死因	悪性新生物	心疾患 (高血圧性を除く)	脳血管疾患	肺炎	老衰	不慮の事故	腎不全	自殺	大動脈瘤及び解離	慢性閉塞性肺疾患	32,927
	実数	8,984	4,971	2,931	2,705	2,580	941	575	482	455	454	
	割合(%)	27.3	15.1	8.9	8.2	7.8	2.9	1.7	1.5	1.4	1.4	
潮来保健所	死因	悪性新生物	心疾患 (高血圧性を除く)	脳血管疾患	肺炎	老衰	不慮の事故	腎不全	糖尿病	肝疾患	自殺	1,942
	実数	548	302	174	171	94	63	35	33	32	32	
	割合(%)	28.2	15.6	9.0	8.8	4.8	3.2	1.8	1.7	1.6	1.6	
鹿嶋市	死因	悪性新生物	心疾患 (高血圧性を除く)	肺炎	脳血管疾患	老衰	不慮の事故	肝疾患	腎不全	糖尿病	高血圧性疾患 1	691
	実数	204	100	82	45	45	21	10	9	7	6	
	割合(%)	29.5	14.5	11.9	6.5	6.5	3.0	1.4	1.3	1.0	0.9	
潮来市	死因	悪性新生物	心疾患 (高血圧性を除く)	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故	老衰	腎不全	糖尿病	肝疾患	大動脈瘤及び解離	363
	実数	89	63	30	25	14	13	12	11	8	5	
	割合(%)	24.5	17.4	8.3	6.9	3.9	3.6	3.3	3.0	2.2	1.4	
神栖市	死因	悪性新生物	心疾患 (高血圧性を除く)	脳血管疾患	肺炎	老衰	不慮の事故	自殺	慢性閉塞性肺疾患	糖尿病	肝疾患 2	888
	実数	255	139	99	64	36	28	23	16	15	14	
	割合(%)	28.7	15.7	11.1	7.2	4.1	3.2	2.6	1.8	1.7	1.6	
鉾田保健所	死因	悪性新生物	心疾患 (高血圧性を除く)	脳血管疾患	肺炎	老衰	不慮の事故	腎不全	糖尿病	大動脈瘤及び解離	自殺	1,296
	実数	305	236	141	122	69	34	28	21	20	17	
	割合(%)	23.5	18.2	10.9	9.4	5.3	2.6	2.2	1.6	1.5	1.3	
行方市	死因	悪性新生物	心疾患 (高血圧性を除く)	脳血管疾患	肺炎	老衰	不慮の事故	腎不全	自殺	糖尿病	慢性閉塞性肺疾患 3	573
	実数	127	91	70	59	24	19	12	11	9	7	
	割合(%)	22.2	15.9	12.2	10.3	4.2	3.3	2.1	1.9	1.6	1.2	
鉾田市	死因	悪性新生物	心疾患 (高血圧性を除く)	脳血管疾患	肺炎	老衰	大動脈瘤及び解離	腎不全	不慮の事故	糖尿病	慢性閉塞性肺疾患	723
	実数	178	145	71	63	45	16	16	15	12	7	
	割合(%)	24.6	20.1	9.8	8.7	6.2	2.2	2.2	2.1	1.7	1.0	

厚労省「平成30年人口動態統計(確定数)の概況」、「平成30年茨城県保健福祉統計年報」より

- 1 大動脈瘤及び解離・自殺も同順位
- 2 腎不全も同順位
- 3 肝疾患も同順位

(参考資料)

平成30年 潮来保健所管内の悪性新生物部位別死亡表

性別 悪性新生物部位	男 性				女 性			
	茨城県(人)	割合	潮来保健所(人)	割合	茨城県(人)	割合	潮来保健所(人)	割合
食 道	214	3.93%	13	3.80%	46	1.30%	5	2.43%
胃	779	14.30%	46	13.45%	371	10.49%	30	14.56%
結 腸	438	8.04%	25	7.31%	415	11.73%	17	8.25%
直腸S状結腸移行部及び直腸	276	5.07%	15	4.39%	138	3.90%	6	2.91%
肝及び肝内胆管	381	7.00%	24	7.02%	167	4.72%	10	4.85%
胆のう及びその他の胆道	229	4.20%	20	5.85%	222	6.27%	11	5.34%
膵	455	8.35%	31	9.06%	376	10.63%	19	9.22%
気管、気管支及び肺	1,288	23.65%	82	23.98%	446	12.61%	20	9.71%
乳 房	1	0.02%	0	0.00%	329	9.30%	16	7.77%
子 宮	-	-	-	-	167	4.72%	13	6.31%
白 血 病	120	2.20%	8	2.34%	90	2.54%	5	2.43%
そ の 他	1,265	23.23%	78	22.81%	771	21.79%	54	26.21%
総 数	5,446	100.00%	342	100.00%	3,538	100.00%	206	100.00%

「平成30年茨城県保健福祉統計年報」より
組織再編による保健所の統合は令和元年11月のため、銚田保健所管内(銚田市・行方市)は含まない。

第 2 - 3 衛 生 課

1 環境衛生関係

(1) 環境衛生関係営業施設の開業及び衛生指導

旅館，理容所，美容所等の環境衛生関係営業施設の新規開業件数は平成 3 1 年度 5 6 施設あり，これらの施設の適正な管理の保持，向上させるための衛生指導を実施した。

(2) 水道の普及促進

安定した生活用水を供給する水道施設を普及させるために，管内市と緊密な連携のもとに促進を図っている。

(3) 安全な飲料水の確保

水質検査の結果，不適合であった飲用井戸の設置者に対し水道への加入の促進及び飲用指導を行い，安全な飲料水の確保に努めた。

管内市町水道普及率

(単位 : %)

年度 市	2 5	2 6	2 7	2 8	2 9	3 0
鹿 嶋 市	7 5 . 5	7 5 . 8	7 5 . 9	7 6 . 0	7 6 . 1	7 6 . 2
潮 来 市	9 4 . 9	9 5 . 6	9 6 . 8	9 6 . 5	9 7 . 1	9 7 . 4
神 栖 市	9 4 . 6	9 5 . 1	9 2 . 8	9 3 . 2	9 3 . 6	9 3 . 7
行 方 市	9 4 . 6	9 4 . 6	9 4 . 6	9 4 . 7	9 4 . 0	9 4 . 0
銚 田 市	8 3 . 3	8 3 . 8	8 3 . 5	8 4 . 8	8 6 . 1	8 7 . 3

茨城県水道普及率 9 4 . 7 % (平成 3 1 年 3 月末現在)

市別環境衛生関係施設数

(令和2年3月末現在)

種 別	鹿嶋市	潮来市	神栖市	行方市	銚田市	計
旅 館	35	19	117	11	21	203
興 行 場	2	0	2	0	0	4
公 衆 浴 場	6	5	15	11	8	45
(その他の公衆浴場)	(6)	(5)	(15)	(11)	(8)	(45)
理 容 所	112	38	140	48	71	409
美 容 所	148	68	229	58	90	593
ク リ ー ニ ン グ 所	21	12	36	16	15	100
小 計	324	142	539	144	205	1,005
特 定 建 築 物	16	8	27	5	5	61
清 掃 業	1		5			6
(本年度登録)	(1)					(1)
空 気 環 境 測 定 業	2			1		3
(本年度登録)	(1)					(1)
飲 料 水 水 質 検 査 業	2					2
(本年度登録)						
飲 料 水 貯 水 槽 清 掃 業	7	2	5	1	2	17
(本年度登録)	(1)					(1)
ね ず み 昆 虫 等 防 除 業		1	1			2
(本年度登録)						
排 水 管 清 掃 業			1			1
(本年度登録)						
環 境 衛 生 総 合 管 理 業		1				1
(本年度登録)						
プ ー ル	4	3	4	1	5	17
小 計	32	15	43	8	12	110
上 水 道	2	1	1	1	1	6
簡 易 水 道	0	0	0	0	0	0
専 用 水 道	4	1	8	0	1	14
簡 易 専 用 水 道	75	29	138	28	32	302
小 規 模 水 道	91	4	164	15	90	364
小 簡 易 専 用 水 道	49	13	138	13	10	223
小 計	221	48	449	57	134	909
計	577	205	1,031	209	351	2,373

環境衛生営業施設検査状況（令和元年度）

区 分 種 別	申 請 件 数		施 設 数				検 査 指 導 件 数
	前 年 度 繰 越 件 数	本 年 度 申 請 件 数	年 度 当 初 件 数	開 業 件 数	廃 業 件 数	年 度 末 件 数	
旅 館	0	11	201	11	9	203	11
季 節 旅 館	0	0	0	0	0	0	0
興 行 場	0	1	3	1	0	4	1
季 節 興 行 場	0	0	0	0	0	0	0
公 衆 浴 場	0	3	44	3	2	45	3
理 容 所	0	2	413	2	6	409	2
美 容 所	0	28	576	28	12	592	28
ク リ ー ニ ン グ 所	0	2	102	2	4	100	2
小 計	0	47	1339	47	33	1353	47
特 定 建 築 物	0	4	57	4	0	61	4
事 業 登 録	0	3	32	3	3	32	3
遊 泳 用 プ ー ル	0	2	17	2	2	17	2
小 計	0	9	106	9	5	110	9
計	0	56	1445	56	38	1463	56

環境衛生関係免許等取扱状況（令和元年度）

区 分 種 別	申 請	書 換 交 付 申 請	再 交 付 申 請	計
ク リ ー ニ ン グ 師 免 許	0	0	0	0

2 食品衛生関係

- (1) 飲食店等の食品営業施設の許可事務及び監視指導を行うとともに、食品衛生推進員の自主活動を促進し、飲食に起因する危害の発生防止に努めた。
- (2) 集団給食施設（学校・病院・社会福祉施設等）への監視指導を行い、施設器具等のふき取り検査を行い、給食従事者の衛生意識向上に努めた。
- (3) 管内に流通する食品の収去検査を行い、その安全性を確認し、不良食品の流通防止を図った。
- (4) 食品衛生講習会等において、特に、アニサキス等の寄生虫、食肉の生食のリスクやノロウイルスによる食中毒予防対策を周知するとともに食品衛生思想の普及向上に努めた。
- (5) 食品衛生法の改正により、HACCP の考え方を取り入れた衛生管理が義務づけられたことから、営業者への講習会を開催した。
- (6) 食品の安全に関する正確な情報を提供するため、大規模なイベントに併せて、食品衛生フェアを開催し、食の安全に関する住民の不安軽減を図った。
- (7) 細菌性食中毒が多発する夏季及びノロウイルスが多発する冬季に、営業者に対し一斉巡回指導を行い、消費者に対し各市の広報誌により食中毒の注意喚起を図った。
- (8) 調理師、製菓衛生師について、免許事務を行った。
- (9) 消費者や営業者から寄せられる食品に係る相談に対応し、その不安解消に努めた。

表1 食品営業申請、許可等の状況(法令)

(令和2年3月末現在)

業種別	区分	年度当初 施設数	年度当初 施設数	申請				許可件数		未許可件数		不許可 件数	廃業 件数	年度末 施設数	監視件数	改善 命令等 件数
				新規		更新		新規	更新	新規	更新					
				前年度 繰越 件数	本年度 受付 件数	前年度 繰越 件数	本年度 受付 件数									
飲食店営業		2,245	603	0	578	0	232	578	232	0	0	0	587	2,839	1,162	3
菓子製造業		170	93	0	34	0	19	34	19	0	0	0	29	268	294	0
乳処理業		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0
特別牛乳さく取処理業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
乳製品製造業		6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	11	0
集乳業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
魚介類販売業		300	134	0	33	0	31	33	31	0	0	0	38	429	200	0
魚介類せり売り業		3	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	3	1	0
魚肉ねり製品製造業		6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	7	0
食品の冷凍又は冷蔵業		38	7	0	4	0	4	4	4	0	0	0	0	49	31	0
かん詰又はびん詰食品製造業		7	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	9	6	0
喫茶店営業		258	61	0	38	0	34	38	34	0	0	0	48	309	84	0
あん類製造業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アイスクリーム類製造業		28	20	0	6	0	2	6	2	0	0	0	9	45	30	0
乳類販売業		428	163	0	31	0	48	31	48	0	0	0	44	578	168	0
食肉処理業		9	6	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	14	11	0
食肉販売業		257	136	0	25	0	35	25	35	0	0	0	29	389	168	0
食肉製品製造業		1	3	0	0	0	3	0	3	0	0	0	0	4	3	0
乳酸菌飲料製造業		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0
食用油脂製造業		5	3	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	8	20	0
マーガリン又はショートニング製造業		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0
みそ製造業		2	5	0	0	0	2	0	2	0	0	0	1	6	4	0
醤油製造業		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
ソース類製造業		5	4	0	0	0	3	0	3	0	0	0	0	9	4	0
酒類製造業		2	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	3	3	0
豆腐製造業		11	9	0	1	0	2	1	2	0	0	0	1	20	21	0
納豆製造業		0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	2	0
めん類製造業		5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	7	0
そうざい製造業		65	62	0	8	0	10	8	10	0	0	0	5	130	113	0
添加物製造業		16	0	0	0	0	3	0	3	0	0	0	0	16	23	0
食品の放射線照射業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
清涼飲料水製造業		4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	5	0
氷雪製造業		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0
氷雪販売業		5	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	7	0	0
計		3,880	1,322	0	758	0	435	758	435	0	0	0	793	5,167	2,390	3

表2 市別法令関係食品営業施設

(令和2年3月末現在)

業 種	市 名					計
	鹿嶋市	潮来市	神栖市	行方市	銚田市	
飲食店営業	640	315	1,196	218	347	2,716
菓子製造業	49	45	75	44	49	262
乳処理業	0	0	0	0	1	1
特別牛乳さく取処理業	0	0	0	0	0	0
乳製品製造業	0	1	5	0	1	7
集乳業	0	0	0	0	0	0
魚介類販売業	95	38	166	62	63	424
魚介類せり売り業	1	0	2	0	0	3
魚肉ねり製品製造業	0	0	6	0	0	6
食品の冷凍又は冷蔵業	2	3	36	3	5	49
かん詰又はびん詰食品製造業	1	2	4	1	1	9
喫茶店営業	86	30	132	23	37	308
あん類製造業	0	0	0	0	0	0
アイスクリーム類製造業	7	4	16	5	13	45
乳類販売業	141	48	226	63	92	570
食肉処理業	1	1	5	1	6	14
食肉販売業	88	37	132	54	74	385
食肉製品製造業	0	0	1	1	2	4
乳酸菌飲料製造業	0	0	0	0	1	1
食用油脂製造業	0	0	5	2	1	8
マーガリン又はショートニング製造業	0	0	2	0	0	2
みそ製造業	0	2	0	2	2	6
醤油製造業	0	1	0	0	0	1
ソース類製造業	1	0	4	4	0	9
酒類製造業	1	1	0	1	0	3
豆腐製造業	3	4	4	4	5	20
納豆製造業	0	0	0	1	0	1
めん類製造業	2	2	1	3	0	8
そうざい製造業	15	19	37	34	25	130
添加物製造業	1	0	15	0	0	16
食品の放射線照射業	0	0	0	0	0	0
清涼飲料水製造業	0	0	3	0	1	4
氷雪製造業	0	0	1	0	0	1
氷雪販売業	1	0	4	1	1	7
計	1,135	553	2,078	527	727	5,020

複数地域を巡る業種を除く

表3 市別条例関係食品営業施設（行商を除く）

（令和2年3月末現在）

業種	市名					
	鹿嶋市	潮来市	神栖市	行方市	銚田市	計
販売業	105	38	156	60	78	437
漬物製造業	4	14	7	12	19	56
魚介類加工業	9	9	37	11	2	68
そうざい半製品製造業	0	0	7	1	3	11
液卵製造業	0	0	1	0	0	1
計	118	61	208	84	102	573

複数地域を巡る業種を除く

表4 食品営業申請，許可等の状況（条例）

（令和2年3月末現在）

業種	区分	年度当初 施設数	年度当初 施設数	申請				許可件数		未許可件数		不許可 件数	廃業 件数	年度末 施設数	監視 件数	改善 命令等 件数
				新規		更新		新規	更新	新規	更新					
				前年度 繰越 件数	今年度 受付 件数	前年度 繰越 件数	今年度 受付 件数									
行商		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
販売業		301	148	0	101	0	45	101	45	0	0	0	98	452	191	0
漬物製造業		24	30	0	3	0	6	3	6	0	0	0	1	56	68	0
魚介類加工業		54	14	0	1	0	4	1	4	0	0	0	1	68	58	0
そうざい半製品製造業		6	4	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	11	8	0
液卵製造業		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
計		387	196	0	106	0	55	106	55	0	0	0	100	589	326	0

表5 食品衛生講習会開催（令和元年度）

内 容 \ 区 分	実 施 回 数	受 講 延 人 員
食中毒予防関係	40	1,352
消費者教育関係	3	133
食品衛生責任者関係	3	1,050
そ の 他	0	0
計	46	2,535

表6 苦情相談等処理件数（令和元年度）

内 容 \ 区 分	受 理 件 数	苦 情 相 談 形 式			処 理 分	
		口 頭	T E L	文 書	試験検査を 要した件数	行政措置を 要した件数
腐敗変敗関係	6	2	4	0	0	1
異物混入関係	11	2	8	1	0	0
表示関係	30	6	16	8	0	1
施設の衛生状態関係	11	1	8	2	0	0
そ族,こん虫関係	1	0	1	0	0	0
そ の 他	890	841	41	8	0	5
計	949	852	78	19	0	5

表7 調理師・製菓衛生師免許関係（令和元年度）

内 容 \ 区 分	件 数
調理師免許申請	47
調理師免許書換交付申請	9
調理師免許再交付申請	18
製菓衛生師免許申請	6
製菓衛生師免許書換交付申請	0
製菓衛生師免許再交付申請	0
計	80

3 薬事関係

(1) 許認可事務

医薬品，医療機器等の品質，有効性及び安全性の確保等に関する法律，毒物及び劇物取締法，麻薬及び向精神薬取締法等に基づく，薬局開設，医薬品販売業，毒物劇物販売業，麻薬施用者免許等の申請に対し，書類審査及び施設調査を実施し，許可，登録等を実施した。（付表1）

(2) 監視指導

医薬品等の品質，有効性及び安全性を図るため，薬局，医薬品販売業者等に対し，監視指導を実施した。また，毒物劇物による危害を防止するため，毒物劇物販売業者等に対し，毒物劇物の保管管理及び取扱いについて指導を行った。（付表1）

(3) 薬物乱用防止活動

危険ドラッグ・覚醒剤等の薬物の乱用を防止するため，茨城県薬物乱用防止指導員潮来地区協議会等地域団体の協力を得て，薬物乱用防止キャンペーン等を実施した。また，薬物乱用防止教室を開催した。

事業名	実施日	場所	対象者等
なめがたエリアテレビ 情報番組 薬物乱用防止	H31.4.24	行方市周辺	一般市民
エフエムかしま放送 薬物乱用防止	R1.5.13	鹿嶋市周辺	一般市民
6.26ヤング 街頭キャンペーン	R1.5.26	第33回潮来トライアスロン全国大会	啓発対象者：2,500人 参加者：30名
6.26ヤング 街頭キャンペーン	R1.6.11	行方市立玉造 中学校	啓発対象者：293人 参加者：51名
6.26ヤング 街頭キャンペーン	R1.6.17	銚田市立大洋 中学校	啓発対象者：253人 参加者：58名
麻薬・覚せい剤乱用 防止運動	R1.9.22	第10回かみす舞っち ゃげ祭り	啓発対象者：1,500人 参加者：13名
麻薬・覚せい剤乱用 防止運動	R1.10.6	第74回国民体育大会ス ポーツクライミング競 技会	啓発対象者：100人 参加者：3名

いばらき教育の日一斉 キャンペーン	R1.11.5	新鉾田駅周辺	啓発対象者： 100人 参加者： 2名
高校サッカーにおける 横断幕の掲示	R1.11.10 R1.11.17	県立カシマサッカー スタジアム	高校生等
薬物乱用防止教室	通 年	小学校 1校 高等学校 2校 専門学校 1校	生徒，教職員等 計 830名

- (4) 不正大麻・けしの撲滅運動
不正・大麻けしの発見除去に努めた。

	除去本数	除去箇所	除去面積
け し	615本	19ヶ所	498㎡

- (5) 献血事業推進
献血事業推進については，管内地域住民等に対し献血の大切さを啓発した。

令和元年度 潮来保健所管内市献血実施結果

成分 市名	実 績 (人)				人口(人) [H31.4.1]	献血率 (%)
	200ml	400ml	成分	計		
鹿 嶋 市	318	966	0	1,284	67,451	1.9
潮 来 市	24	205	0	229	28,188	0.8
神 栖 市	262	1,635	0	1,897	95,428	2.1
鉾 田 市	87	265	0	352	48,849	0.7
行 方 市	98	311	0	409	34,727	1.7
合 計	789	3,382	0	4,171	274,643	1.5

- (6) 骨髄バンクドナー登録者
登録者の増加を図るため，事業所への協力依頼等，普及啓発に努めた結果，令和元年度の登録者数は，移動採血併行型登録会において35名の登録があった。

薬事関係の許可・登録数及び監視件数

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

区 分	業 種	施前 設年 等度 数末 7 件数	申 請 数					許可・登録数		廃 止 数 7 件数	現 在 施 設 等 数 7+イ-ウ 件数	監 視 数 件数	監 視 率 %		
			新 規 件数	更 新 件数	変 更 件数	再 交 付 件数	書 換 交 付 件数	新 規 件数	更 新 件数						
医 薬 品 医 療 機 器 法	薬 局	医薬品製造品目追加 (変更)許可	-					0	0		-	-	-		
		医薬品製造承認	-					0	0		-	-	-		
		製造販売 製造	8	4			0	0	4		1	11	4	36.4	
	薬 局		78	28	12	244	0	1	28	12	6	100	61	61.0	
	医 薬 品 販 売 業 例	卸 売 店	卸売	12	1	1	6	0	0	1	1	1	12	10	83.3
			舗	37	26	2	179	0	0	26	2		63	37	58.7
		一 般 薬 種 商							0	0		0			-
		特 1							0	0		0			0.0
		2							0	0		0			-
	機 器 法	高度管理医療 機器販売	販売業	90	32	13	51	0		32	13	6	116	55	47.4
			貸与業	35	9	3		0		9	3	1	43	21	48.8
		医療機器	販売業	356	206		35	0	0	206	0	14	548	47	8.6
			貸与業	12	31			0	0	31	0		43	3	7.0
	管 理 者 兼 務 許 可		20	14					14	0	2	32	-	0.0	
	小 計		656	355	31	515	0	1	355	31	32	979	242	-	
毒 物 劇 物 取 締 法	毒 物 製 造 業	(国)	14	1	3	11		3	1	3		15	19	126.7	
		(県)	10	4	3	4			4	3	1	13	9	69.2	
		輸 入 業	3						0	0		3	5	166.7	
		(県)	0						0	0		0		0.0	
	劇 物 販 売 業	一 般	121	44	13	30		5	44	13	5	160	83	51.9	
		農 業 用	29	39	2	10			39	2	1	67	29	43.3	
		特 定	1	1					1	0		2		0.0	
	物 取 扱 者	業 務 上 メ ッ キ	3						0	0		3		0.0	
		運 搬 用	21			1			0	0		21	13	61.9	
	特 定 毒 物 研 究 者		2						0	0		2	1	50.0	
特 定 毒 物 使 用 者		6	57					57	0	0	63		0.0		
小 計		210	146	21	56	0	8	146	21	7	349	159	-		
麻 薬 向 精 神 薬 取 締 法	麻 薬 取 扱 者	卸 売	2	1					1		1	2	2	100.0	
		小 売	65	21		5			21		4	82	42	51.2	
		研 究	4	0					0		2	2		0.0	
		管 理	23	7					7		5	25		-	
		施 用	146	81		16			81		32	195	-	-	
	麻 薬 施 用 機 関		45	25	-	-	-	-	25		3	67	17	25.4	
	向 精 神 薬 試 験 研 究 機 関		3						0		0	3		0.0	
特 定 麻 薬 等 原 料 卸 小 売		14								0	14		8.3		
小 計		302	135	0	21	0	0	135	0	47	390	61	-		
剤 覚 取 せ 締 い	覚 せ い 剤 原 料 取 扱 者	覚 せ い 剤 研 究 者	3								3	2	66.7		
		覚 せ い 剤 研 究 者	1						0		0	1		0.0	
		覚 せ い 剤 施 用 機 関	1			0			0		1	0		-	
	小 計		5	0	0	0	0	0	0	0	1	4	2	-	
合 計		1173	636	52	592	0	9	636	52	87	1722	464	-		

第 2 - 4 監視指導課

監視指導課は、潮来保健所管内の 5 市において食品衛生、環境衛生及び薬事の各関係法令に関する施設に対し監視指導を実施している。また、必要に応じて、収去検査及び現場検査等による科学的監視指導を実施した。

1 食品衛生関係

(1) 一般の監視

食品衛生上の危害発生の防止を図るため、毎年度作成される「茨城県食品衛生監視指導計画」に基づき大型店舗内食品営業施設、仕出し・弁当・調理パン調製施設、食品製造業及び事業所給食施設等の監視指導を実施するとともに、自主的な衛生管理の向上を図った。

特に、「いきいき茨城ゆめ国体 2019（以下、国体とする。）」における弁当調製施設及び宿泊施設に対して、「第 74 回国民体育大会・第 19 回全国障害者スポーツ大会食品衛生対策実施要領」に基づき重点的に監視指導を実施した。

(2) 輸入食品の収去検査

食の安全を図るため、県内に流通している輸入食品の残留農薬検査、食品添加物及び動物用医薬品等の検査を実施した。

(3) 夏期及び年末の食品一斉取締りに係る収去検査

食中毒の予防を図るため、夏期には管内の国体における弁当調製施設が製造している弁当・そうざい類の検査を、年末には管内の業者が製造・販売している洋生菓子の検査を実施した。

(4) ノロウイルス等による食中毒対策

ノロウイルス等による食中毒を防止するため、スポーツ合宿を主とする宿泊施設に対し監視指導を強化し、啓発のためリーフレットの配付などにより衛生管理の徹底を図った。

(5) 食の安全・安心に係るリスクコミュニケーションの実施

令和元年10月28日、食生活改善推進員等を対象として「輸入食品の安全性について～安全安心な食品に係る取組み～」をテーマに、食の安全・安心に係るリスクコミュニケーションを実施した。

別表1

食品衛生関係監視指導状況(法令)

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

管轄保健所 区分 業種	合 計		
	対 象 施設数	監 視 件 数	指導票 交付数
飲 食 店 営 業	297	542	
菓 子 製 造 業	264	245	
乳 処 理 業	1	4	
特別牛乳さく取処理業			
乳 製 品 製 造 業	7	11	
集 乳 業			
魚 介 類 販 売 業	29	123	
魚 介 類 せ り 売 り 業	3	1	
魚 肉 ね り 製 品 製 造 業	6	6	
食品の冷凍又は冷蔵業	37	21	
缶詰又は瓶詰食品製造業	9	6	
喫 茶 店 営 業		46	
あ ん 類 製 造 業			
アイスクリーム類製造業	11	22	
乳 類 販 売 業	29	97	
食 肉 処 理 業	14	7	
食 肉 販 売 業	29	97	
食 肉 製 品 製 造 業	4	3	
乳 酸 菌 飲 料 製 造 業	1	4	
食 用 油 脂 製 造 業	10	19	
マーガリン又はショートニング製造業	2	1	
み そ 製 造 業	7	4	
醬 油 製 造 業	1	1	
ソ ー ス 類 製 造 業	9	2	
酒 類 製 造 業	3	2	
豆 腐 製 造 業	20	18	
納 豆 製 造 業	1	2	
め ん 類 製 造 業	8	7	
そ う ざ い 製 造 業	128	91	
添 加 物 製 造 業	18	23	
食品の放射線照射業			
清 涼 飲 料 水 製 造 業	5	5	
氷 雪 製 造 業	1	2	
氷 雪 販 売 業			
合 計	954	1,412	0

食品衛生関係監視指導状況(条例)

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

業種 区分	管轄保健所 合 計		
	対象 施設数	監視 件数	指導票 交付数
行 商			
そうざい・弁当類販売業	29	103	
製 漬 物 製 造 業	77	63	1
造 魚 介 類 加 工 業	68	51	
業 そうざい半製品製造業	10	5	
等 液 卵 製 造 業	1	1	
小 計	156	120	1
計	185	223	1

食品衛生関係監視指導状況(事業所給食・大型店舗)

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

業種 区分	管轄保健所 合 計		
	対象 施設数	監視 件数	指導票 交付数
事業所給食等	27	19	
大型店舗	29	23	

収去検査状況(潮来保健所)

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

対象食品	検査件数	不良件数
冷凍食品	12	
魚介類,魚介類加工品	9	
肉卵類およびその加工品	12	
乳製品,乳類加工品		
野菜類・果実およびその加工品	30	1
菓子類	26	1
清涼飲料水	2	
酒精飲料	4	
かん詰・びん詰食品		
その他の食品	26	
合 計	121	2

2 環境衛生関係

(1) 旅館業

旅館業法に基づく立入検査を実施し、施設全体の衛生管理の向上を図った。
特に、神栖・波崎地区のスポーツ合宿関連旅館に対しては、ノロウイルス感染症発生防止対策等の啓発指導を行った。また、循環式浴槽のある施設ではレジオネラ症発生リスクが高いことから、浴槽水の適正管理について指導した。

また、国体における宿泊施設に対し、旅館業法に基づく監視を重点的に実施するとともに、講習会を実施し衛生管理の徹底を図った。

(2) 公衆浴場

レジオネラ症発生防止のための対策について「公衆浴場における衛生等管理要領」及び「茨城県公衆浴場法施行条例」に基づく指導を行った。

さらに、浴槽水については、ATPの測定結果も参考にしながら衛生管理の適正化に向けた指導を行った。

(3) 遊泳用プール

茨城県遊泳用プール衛生指導要綱に基づく立入検査を実施し、プール水の水質管理を中心に施設全体の衛生管理の向上を図った。

また、気泡浴槽、採暖槽等の設備については、レジオネラ症発生防止対策としての浴槽水の適正管理について指導した。

(4) クリーニング所

セレウス菌感染防止のための洗浄消毒について、「クリーニング業法」及び「病院寝具類の受託洗濯施設に関する衛生基準」に基づき、指定洗濯物を取り扱う店舗について立入調査を行い、洗濯物の洗浄消毒方法等について指導した。

環境衛生関係指導状況（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

管轄保健所 種類	合 計		
	対 象 施設数	監視延 施設数	指導票 交付数
旅 館 業	173	151	1
興 行 場	4	1	0
公 衆 浴 場	45	42	1
ク リ ー ニ ン グ 所	48	10	0
特 定 建 築 物	43	10	0
遊 泳 用 プ ー ル	17	18	0
合 計	330	232	2

対象施設数は令和2年3月31日現在で、旅館業の監視延施設数は簡易宿所(2)・下宿(2)を含む。

クリーニング所の指導は2年に1回実施している。

環境衛生関係指導状況

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

種類	管轄保健所 検査項目	合計	
		試験検査件数	不適件数
旅館業	遊離残留塩素濃度	93	31
	A T P ルミテスター	10	6
公衆浴場	遊離残留塩素濃度	64	8
	レジオネラ属菌	0	0
	A T P ルミテスター	80	26
特定建築物	遊離残留塩素濃度	1	0
	温度	0	0
	相対湿度	0	0
	二酸化炭素濃度	7	0
	一酸化炭素濃度	7	0
	浮遊粉じん	0	0
遊泳用プール	遊離残留塩素濃度	43	0
	二酸化炭素濃度	13	0
合計		318	71

3 薬事関係

(1) 薬局，医薬品販売業等

薬局，医薬品販売業等における医薬品の安全性及び有効性の確保並びに取扱いの適正化を図るため，医薬品の収去検査を実施するとともに，医薬品医療機器法等に基づく監視指導の強化に努めた。

(2) 毒物劇物営業者等

毒物劇物による事故防止及び取扱いの適正化を図るため，毒物及び劇物取締法に基づき，関係施設における保管・管理状況，譲渡手続き，危害防止規定等について確認し，必要な指導を行った。

薬事関係施設監視等状況

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

保健所 区分		合計		
		対象施設数	監視件数	指導票交付数
法業種				
医薬品 医療 機器 法	薬局	100	47	1
	薬局製造業・薬局製造販売業	22	8	0
	卸売販売業	12	10	0
	店舗販売業	63	28	0
	薬種商販売業	0	0	0
	特例販売業	0	0	0
	配置販売業		1	0
	高度管理医療機器等販売業	116	44	0
	高度管理医療機器等貸与業	43	13	0
	管理医療機器販売業	548	42	0
	管理医療機器貸与業	43	2	0
小計		947	195	1
毒物劇物 取締法	毒物劇物製造業	28	28	0
	毒物劇物輸入業	3	5	0
	一般販売業	160	68	0
	農業用品目販売業	67	7	0
	特定品目販売業	2	0	0
	業務上取扱者(届出要)	24	13	0
	業務上取扱者(届出不要)		0	0
	特定毒物研究者	2	1	0
	小計		286	122
合計		1,233	317	1
検査	定量試験 (10検体)	適合(10検体) 不適合(0検体)		

* 対象施設数は、令和2年3月31日現在

第 2 - 5 健康増進課

1 健康づくり・栄養改善事業の推進

「第3次健康いばらき21プラン」及び「茨城県食育推進計画(第三次)」に基づき、「すべての県民が健康で明るく元気に暮らせる社会の実現」及び「食育を通じて生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育むこと」を目指し、健康づくり・食育を推進した。

生活習慣病のうち特に循環器疾患の予防に重点を置き、減塩・適塩及び肥満防止に関する普及啓発及びたばこ対策を推進した。

また、いばらきヘルスロードのコース募集、市の健康増進事業への補助支援、国民健康・栄養調査を実施した。

さらに、栄養士法に基づく免許事務、健康増進法に基づく特定給食施設等の栄養管理指導及び管内食生活改善地区組織の支援を実施した。

(1) 「循環器疾患予防月間」の取組及び生活習慣病予防に関する普及啓発

9月に「循環器疾患予防月間」ポスター及び「健康増進普及月間」ポスターを掲示した。また、「FMかしま」による放送や研修会等を通して生活習慣病予防に関する普及啓発を行った。

さらに、関係機関と連携し、循環器疾患予防月間キャンペーン等を実施した。

実施した内容の一部については、県のホームページに掲載した。

ア 循環器疾患予防月間キャンペーン等

鹿島石油(株)鹿島製油所との連携

期 間 令和元年10月2日(水)～3日(木)2日間

場 所 鹿島石油(株)鹿島製油所

内 容 塩分に関する展示コーナー(血圧が上がる仕組みや動脈硬化の模型、食品に含まれる塩分量など)を設置し、普段の食事を見直すきっかけづくりとした。また、看護師・管理栄養士による健康アドバイスも実施した。

対象者 鹿島石油(株)鹿島製油所職員

(2) たばこ対策事業の推進

ア たばこ対策推進員の活動状況

たばこの健康に対する影響の周知について、地域で身の回りの人々に伝達及び啓発をした。

イ 禁煙認証制度

受動喫煙防止を推進するため、禁煙の取組を行っている施設を認証し、認証ステッカーを交付した。管内各市の公共施設はすべて禁煙施設となっている。

管内施設等の禁煙認証状況 (施設数：令和2年3月末現在)

区分	建物内禁煙	敷地内禁煙	合計
施設数	325	257	582

ウ 「世界禁煙デー」及び「禁煙週間」の取組

「世界禁煙デー(5月31日)」及び「禁煙週間(5月31日～6月6日)」の周知を図るとともにたばこの害等について普及啓発を行った。

(ア) たばこの健康影響についての十分な知識の普及

「ヘルシースポット薬局」及び「禁煙治療に保健が使える医療機関」について保健所のホームページに掲載した他、ポスターの掲示やFMかしまの番組により広く周知した。

(イ) 未成年者の喫煙防止対策の取組

管内各市教育委員会，県立・私立高等学校あて「世界禁煙デー」及び「禁煙週間」について周知を図った。

(3) いばらきヘルスロードのコース募集

ウォーキングによる運動習慣づくりを支援するためいばらきヘルスロードコースを市町村及び県民より募集し，県が指定している。令和2年3月31日現在，管内で指定されているヘルスロードは21コースである。

コース番号	コース名	所在地	距離
45	国道に向かっての往復コース	銚田市	2.7 Km
46	銚田グリーンロード	銚田市	2.2 Km
47	一里塚ロードパーク	銚田市	2.7 Km
48	お達者コース	銚田市	4.2 Km
49	風と緑を楽しむコース	行方市	2.3 Km
50	道の駅～高須崎公園周辺	行方市	4.1 Km
51	ト伝の郷運動公園コース	鹿嶋市	1.1 km
52	城山公園～鹿島神宮コース	鹿嶋市	2.3 km
53	夕日がきれいな常陸利根川コース	潮来市	6.3 km
54	潮来市内散策コース	潮来市	3.5 km
55	権現山公園の花木と眺望，北斎公園周遊コース	潮来市	2.2 km
56	神之池緑地公園周回コース	神栖市	4.5 km
57	波崎総合支所から砂丘植物園，生涯学習センター，かもめ公園	神栖市	5.4 km
58	北浦ビューコース	行方市	1.4 Km
59	あそう温泉白帆の湯コース	行方市	2.5 Km

122	くぬぎの森スポーツ公園周遊コース	銚田市	1.5 Km
123	白鳥の里散策コース	潮来市	7.5 km
157	神栖港公園散策コース	神栖市	6.0 km
158	利根かもめ大橋散策コース	神栖市	5.2 km
259	鹿島アントラーズクラブハウス周辺コース	鹿嶋市	6.5 km
359	常陸利根川の川風がこちよ市民の散歩コース	潮来市	8.0km

(4) 市の健康増進事業への補助支援

管内各市が行う健康増進法に基づく健康教育・健康相談・健康診査，肝炎ウイルス検診等の健康増進事業費補助金の審査事務を行った。

(5) 令和元年度鹿行地域産業保健センター運営協議会への出席

鹿行地域産業保健センター運営協議会に出席し，「健康増進法の一部改正について（なくそう，望まない受動喫煙）」について説明した。

(6) 健康情報の発信

F Mかしまによる放送，管内食生活改善推進員・管内特定給食施設等関係者等を対象とした研修会において，「たばこによる健康影響」「食育」「生活習慣病予防」「がん検診」等の情報を発信した。

(7) 食育月間の取り組み

ア F Mかしまによる普及啓発

6月10日F Mかしまの番組を通して，食育月間・食育の日を周知し，さらに県の食育推進の合い言葉「お」「い」「し」「い」「な」を紹介した。

イ 潮来保健所における食育月間のP R

6月中「潮来保健所玄関」に，食育の日ののぼり旗・ポスター掲示・リーフレット・食育すごろく等を設置し，ヘルシーメニューを配布した。

(8) 「健康づくり支援店」登録制度の周知勧奨

令和2年3月末現在，管内9店舗が「健康づくり支援店」に登録されているほか，一部のスーパーマーケット・コンビニエンスストアの支店も登録されている（詳細は，茨城県健康・地域ケア推進課の「いばらきの食育・健康づくり」ホームページを参照）。

(9) 栄養改善事業

栄養士法に基づく栄養士・管理栄養士の免許事務・経由事務，電話・来所等に対応した栄養相談，健康増進法に基づく不適切な栄養表示に関する指導及び特定給食施設等の栄養管理指導を行った。

ア 栄養士免許等事務（令和元年度）

免許交付	訂正交付	再交付	取消・返納	計
39件	16件	1件	0件	56件

なお、管理栄養士免許申請等の経由事務は28件、管理栄養士国家試験に係る免許等照合事務は12件であった。

イ 電話・来所等による栄養相談（栄養表示を含む） 39件

ウ 不適切な栄養表示に関する指導 0件

エ 特定給食施設等の栄養管理指導

（ア）栄養管理指導の状況（令和元年度）

種別 区分		特定給食施設				その他の施設		計
		1回100食以上又は1日250食以上		1回300食以上又は1日750食以上		1回50食以上又は1日100食以上		
		栄養士 いる	栄養士 いない	栄養士 いる	栄養士 いない	栄養士 いる	栄養士 いない	
個別指導	延施設数	17	3	5	0	12	4	41
集団指導	開催回数	2						
	延施設数	31	7	8	0	18	2	66

（イ）集団指導

・給食施設管理者及び従事者研修会

（児童福祉施設対象）

日時 令和元年8月30日（金）13:30～15:30

場所 レイクエコー 大研修室

内容 行政説明1「感染症発生時の報告について」
行政説明2「給食施設の衛生管理について」
行政説明3「食物アレルギーの基本の『き』」

参加者 43施設96名

（病院・高齢者対象）

日時 令和元年9月3日（火）13:30～15:30

場所 レイクエコー 大研修室

内容 行政説明1「感染症の発生動向と発生時の対応
～結核感染症を中心に」

行政説明2「給食施設の衛生管理について」

行政説明3「高齢者の栄養管理について」

参加者 23施設64名

（ウ）市学校給食運営委員会への出席

市学校給食運営委員会に委員として出席し、健康づくり・食育推進の視点で発言した。 鹿嶋市 1回 潮来市 1回

(10) 管内食生活改善推進地区組織の支援

管内食生活改善推進地区組織の健康づくり食生活改善活動が効果的に行われるよう各種事業に参加し、組織の支援、情報提供に努めた。

- ・ 総会 令和元年 5月8日(水)
令和元年 6月5日(水) 旧鉾田保健所管内
- ・ 役員会 平成31年 4月9日(火)
令和元年 8月20日(火)
- ・ 研修会 令和元年10月28日(月)
令和元年11月25日(月)

食生活改善推進員活動状況(令和元年度)

市名	状況 推進員数	集会		対話訪問		総数		自己学習回数
		回数	人数	回数	人数	回数	総数	
鹿嶋市	36	120	1511	307	3250	427	4761	725
潮来市	35	185	849	59	200	244	1049	263
神栖市	49	430	3855	429	2202	859	6057	152
行方市	130	856	2679	47	373	903	3052	535
鉾田市	113	295	3559	218	1150	513	4709	327

(11) 若い世代の食育推進事業

茨城県食育推進計画(第三次)の重点項目の1つである「高校生から20歳代を中心とした若い世代への食育の推進」を図るため、健康づくり講話を実施した。

- ・ 潮来税務署での講話
日 時 令和元年6月7日(金)
場 所 潮来税務署
内 容 血圧の仕組みについて 高血圧のリスクについて 今日から実践できること
対象者 潮来税務署職員42名
- ・ 鹿島石油(株)鹿島製油所での健康フェアの実施
日 時 令和元年10月2日(水)~3日(木)
場 所 鹿島石油(株)鹿島製油所
内 容 フライドポテト(ケチャップと塩)の食べ比べ 身体測定コーナー
看護師・管理栄養士による健康アドバイス 動脈硬化の模型や脂肪模型、塩分に関するパネルの展示コーナー
対象者 鹿島石油(株)鹿島製油所職員84名

(12) 食育支援ネットワーク事業

食に関わる様々な健康課題の解決に向けた取組を推進するため、食育を通じた生活習慣病予防の普及・啓発を実施した。

- 日時・場所 令和元年 8月29日(木) 神栖市
令和元年 11月25日(月) 行方市
令和元年 11月26日(火) 鹿嶋市

内 容 講演「高齢者の健康課題について」
 参 加 者 管内食生活改善推進員

2 総合がん対策の推進

がんの発生要因として喫煙や食生活等の生活習慣が深く関わっており、生活習慣病予防のための健康づくりを推進するとともに、「茨城県総合がん対策推進計画（第三次計画）」に基づき、「がんを知り、がん向き合う」をスローガンに、がんに関する正しい知識の普及啓発、がん検診の受診勧奨等を推進した。

(1) がんに関する正しい知識の普及啓発

たばこ対策、食育の推進等健康づくりにおいて生活習慣病予防の普及啓発に努めるとともに、FMかしまによる放送等、がん予防につながる生活習慣の改善を周知した。

(2) がん予防・がん検診講習会の開催

がんに関する正しい知識を周知し、がん検診の受診率向上のため、がん予防・がん検診講習会を開催した。

- ・日 時 令和元年8月29日（木）
 場 所 神栖市保健・福社会館
 内 容 講演「がんのしくみと予防法」
 参加者 管内食生活改善推進員 10名
- ・日 時 令和元年11月25日（月）
 場 所 行方市北浦保健センター
 内 容 講演「がんのしくみと予防法」
 参加者 管内食生活改善推進員 10名

(3) がん検診推進事業

特定の年齢に達した方を対象に、子宮頸がん、乳がん及び大腸がんに関する検診手帳及び検診費用が無料となるがん検診無料クーポン券を市町村が送付し、がんの早期発見と正しい健康意識の普及啓発を図る本事業について、補助金に係る事務を行った。

がん検診推進事業のがん検診受診数（平成30年度）

検診名 市名	子宮頸がん検診			乳がん検診		
	対象者数	受診者数	受診率(%)	対象者数	受診者数	受診率(%)
鹿嶋市	285	9	3.2	425	122	28.7
潮来市	110	6	5.5	164	39	23.8
神栖市	447	33	7.4	640	169	26.4
行方市	159	5	3.1	175	6	3.4
鉾田市	224	9	4.0	252	58	23.0
計	1225	62	5.1	1656	394	23.8

3 母子保健の充実

「大好きいばらき次世代育成プラン（前期）」に基づき、総合母子保健・福祉相談指導事業に取組み、母子保健事業及び発達障害児の早期発見・早期支援を推進した。また、平成26年度から要支援妊産婦支援体制整備事業にて、医療と行政の連携体制を強化し、妊娠期からの切れ目のない支援体制の構築を推進している。さらに、各種医療費助成事業の円滑な実施及び要保護児童対策地域協議会等関係機関との連携に努めた。

(1) 総合母子保健・福祉相談指導事業の実施

ア 保健所発達相談支援事業

身体、精神、運動機能発達の問題を持つ乳幼児とその保護者等に対して、専門医師、心理判定員、保健師等による発達相談を実施し、疾病の早期発見及び適切な育児相談指導を行った。

保健所発達相談支援事業の実施状況（令和元年度）

実施回数	相談件数	相談内容（主訴）
医師相談 10回	実人員：幼児 33人 学童児 2人	ことばのおくれ、コミュニケーションの問題、多動、社会性の問題等
発達検査 15回	延人員：幼児 43人 学童児 2人	

イ 総合母子保健・福祉ネットワーク事業

母子保健の推進及び発達障害児等の療育相談指導体制の強化を図るための会議及び研修会を開催した。

総合母子保健・福祉ネットワーク事業の実施状況（令和元年度）

実施内容	出席者
<p>【第1回鹿行地区母子保健福祉担当者等会議】</p> <p>1 日時 令和元年11月21日(木)13:30~15:00 2 場所 行方市保健センター ふれあいホール 3 内容 (1)各市の重点事業・新規事業の報告 (2)各市の健やか親子21の指標・目標の進捗状況 (3)情報交換</p>	市母子保健担当保健師, 児童福祉担当保健師・事務, 保健所職員等 19名
<p>【第2回鹿行地区母子保健福祉担当者等会議】</p> <p>1 日時 令和2年2月20日(木)13:00~14:30 2 場所 レイクエコー 講座室2 3 内容 (1)管内歯科保健の現状について (2)母子保健事業の推進について (3)意見交換</p>	市母子保健担当保健師, 児童福祉担当保健師・事務, 保健所職員等 20名
<p>【総合母子保健・福祉ネットワーキング研修会】(銚田保健所と共催)</p> <p>1 日時 令和元年7月25日(木)14:00~16:00 2 場所 行方市保健センター 3 内容 講演とワークショップ 「子育て支援従事者のためのアンガーマネジメント講座」イライラ・怒りを笑顔に変える 感情の整え方・癒し方~しなやかに主体的に生きる~ 講師 東京大学大学院医学系研究科附属グローバルナースング・リサーチセンター 特任助教 戸部 浩美 氏</p>	銚田・潮来保健所管内市母子保健・児童福祉担当, 学校・児童福祉施設等子育て支援従事者 73名

(2) 要支援妊産婦支援体制整備事業

医療と行政の連携体制を強化することで, 養育能力に問題があり, 子どもの発育発達に支障を来す恐れのある妊産婦(以下「要支援妊産婦」という。)の早期把握及び早期支援を図り, 安心・安全な出産の確保と子どもの健やかな成長を促し, 妊娠期からの切れ目のない支援体制を構築することを目的とする。

<p>【要支援妊産婦支援連携会議・ケース会議】(銚田保健所と共催)</p> <p>1 日時 令和元年5月16日(木)14:00~16:00 2 場所 レイクエコー 講座室1 3 内容 議題 (1)本年度のケース会議開催日程・連絡先一覧について (2)各機関から報告~連携の現状~ (3)要支援妊産婦についての情報提供と支援状況報告 (4)意見交換「ケース会議のあり方について」</p>	市保健師, 家庭児童相談員, 医療機関助産師, 看護師, 児童相談所職員等 32名
---	--

<p>【要支援妊産婦支援第2回ケース会議】</p> <p>1 日時 令和元年11月21日(木) 15:00~16:30</p> <p>2 場所 行方市保健センター ふれあいホール</p> <p>3 内容 議題 (1) 要支援妊産婦についての情報提供と支援状況報告 (2) 話題提供 5月の会議開催結果 「要支援妊産婦支援に関するアンケート」結果より (3) 意見交換「よりよい支援につなげるためのケース会議のあり方」</p>	<p>市保健師, 家庭児童相談員, 医療機関助産師, 看護師, 児童相談所職員等 31名</p>
<p>【要支援妊産婦支援第3回ケース会議】</p> <p>1 日時 令和2年2月20日(木) 14:45~16:30</p> <p>2 場所 レイクエコー 講座室2</p> <p>3 内容 議題 (1) 要支援妊産婦についての情報提供と支援状況報告 (2) 事例検討</p>	<p>市保健師, 家庭児童相談員, 医療機関助産師, 看護師, 児童相談所職員等 25名</p>

(3) 受胎調節実地指導員

受胎調節実地指導員申請の経由事務 指定申請2件

(4) 母子医療対策

小児慢性特定疾患治療研究事業の対象疾患に罹患している児童に対する医療費受給者証発行事務及び相談等を行い, 患者家族の負担軽減を図った。なお, 結核に罹患した児童に対する療育医療の実績はなかった。

小児慢性特定疾患受給者証発行状況(令和元年度)

(件)

区分	行方市	銚田市	鹿嶋市	潮来市	神栖市	計
1 悪性新生物	3	2	7	3	14	29
2 慢性腎疾患	2	5	4	0	10	21
3 慢性呼吸器疾患	0	2	0	0	2	4
4 慢性心疾患	5	5	6	3	13	32
5 内分泌疾患	1	7	5	6	14	33
6 膠原病	0	1	1	0	1	3
7 糖尿病	0	1	1	2	3	7
8 先天性代謝異常	1	1	3	1	1	7
9 血液疾患	3	1	0	1	1	6
10 免疫疾患	0	0	0	0	0	0
11 神経・筋疾患	1	1	2	3	7	14

12	慢性消化器疾患	0	0	2	2	8	12
13	染色体・遺伝子に 変化を伴う症候群	0	2	0	0	2	4
14	皮膚疾患	1	0	0	0	0	1
15	骨系統疾患	0	0	0	0	0	0
16	脈管系疾患	0	0	0	0	0	0
計		17	28	31	21	76	173

(5) 不妊治療費助成事業

不妊治療のうち、保険外診療である体外受精及び顕微授精（以下「特定不妊治療」という。）については、1回の治療費が高額であり、その経済的負担が重いことから、特定不妊治療に要する費用の一部を助成することにより、不妊に悩む夫婦の経済的負担の軽減を図った。

不妊治療費補助金交付状況

(件)

区分	行方市	銚田市	鹿嶋市	潮来市	神栖市	計
平成27年度	32	51	72	33	128	316
平成28年度	14	36	74	16	111	251
平成29年度	11	36	69	17	92	225
平成30年度	16	36	71	11	88	222
令和元年度	16	25	57	15	112	225

(6) 関係機関との連携

各市要保護児童対策地域協議会に出席し、関係機関との連携を図った。

ア 要保護児童対策地域協議会

代表者会議 5回（銚田市1回，鹿嶋市2回，神栖市1回，潮来市1回）

実務者会議 5回（銚田市1回，潮来市2回，神栖市2回）

4 歯科保健の推進

鹿行地区母子保健福祉担当者会議

実施日 令和2年2月20日（金）13：30～14：00

場所 レイクエコー 講座室2

内容 歯科保健対策について

意見交換

出席者 母子保健担当保健師，児童福祉担当保健師・事務，保健所職員等20名

5 難病対策

令和元年7月1日から、難病医療費助成制度の対象となる疾病が331疾病から333疾病に拡大された。受給者証の交付等にかかる申請及び臨床調査個人票の記載及び診療等のため、指定医及び指定医療機関の指定にかかる事務処理を迅速かつ

適切に実施した。

医療費助成制度の申請等について患者・家族及び医療機関等からの電話及び来所による相談に対応した。また、在宅難病患者避難行動要支援者のうち、在宅人工呼吸器装着患者に対し、市及び関係者と連携しながら家庭訪問を実施し、療養状況及び緊急時の対応等の確認を行った。

ア 指定難病特定医療費申請受理件数 新 規 2 7 4 件
 継 続 1 5 4 9 件
 再登録 4 件

イ 指定難病特定医療受給者証交付状況（市別） 令和2年3月31日現在（人）

疾患番号	疾患名	鹿嶋市	潮来市	神栖市	行方市	銚田市	計
1	球脊髄性筋萎縮症	2	1	1	0	0	4
2	筋萎縮性側索硬化症	7	1	6	3	11	28
3	脊髄性筋萎縮症	2	0	1	0	0	3
4	原発性側索硬化症	0	0	0	0	0	0
5	進行性核上性麻痺	6	1	3	5	5	20
6	パーキンソン病	44	22	60	32	47	205
7	大脳皮質基底核変性症	3	1	3	1	0	8
8	ハンチントン病	0	0	0	1	1	2
9	神経有棘赤血球症	0	0	0	0	0	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	0	1	0	2	0	3
11	重症筋無力症	11	6	18	4	6	45
12	先天性筋無力症候群	0	0	0	0	0	0
13	多発性硬化症 / 視神経脊髄炎	10	3	13	5	9	40
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎 / 多巣性運動ニューロパチー	3	0	2	3	0	8
15	封入体筋炎	0	0	0	1	0	1
16	クロウ・深瀬症候群	0	0	0	0	0	0
17	多系統萎縮症	9	2	10	5	4	30
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く)	6	9	9	7	0	31
19	ライソゾーム病	0	0	0	1	0	1
20	副腎白質ジストロフィー	0	0	0	0	0	0
21	ミトコンドリア病	1	1	1	0	0	3
22	もやもや病	14	3	11	4	1	33
23	プリオン病	0	0	1	0	0	1
24	亜急性硬化性全脳炎	0	0	0	0	0	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	0	0	0	0	0

26	HTLV-1 関連脊髄症	0	0	0	0	1	1
27	特発性基底核石灰化症	0	0	0	0	0	0
28	全身性アミロイドーシス	2	0	2	1	1	6
29	ウルリッヒ病	0	0	0	0	0	0
30	遠位型ミオパチー	0	0	0	0	0	0
31	ベスレムミオパチー	0	0	0	0	0	0
32	自己貪食空胞性ミオパチー	0	0	0	0	0	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	0	0	0	0	0
34	神経線維腫症	2	0	0	0	2	4
35	天疱瘡	2	1	2	0	4	9
36	表皮水疱症	0	0	0	1	1	2
37	膿疱性乾癬（汎発型）	2	0	1	0	0	3
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	0	0	0	0	0
39	中毒性表皮壊死症	0	0	0	0	0	0
40	高安動脈炎	3	3	4	0	3	13
41	巨細胞性動脈炎	0	1	0	0	1	2
42	結節性多発動脈炎	1	1	1	0	0	3
43	顕微鏡的多発血管炎	3	2	6	1	4	16
44	多発血管炎性肉芽腫症	3	0	2	1	0	6
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	0	1	2	2	1	6
46	悪性関節リウマチ	0	1	1	0	1	3
47	バージャー病	0	2	0	0	1	3
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	2	0	1	0	1	4
49	全身性エリテマトーデス	31	11	45	20	19	126
50	皮膚筋炎 / 多発性筋炎	19	4	17	9	9	58
51	全身性強皮症	13	1	18	3	6	41
52	混合性結合組織病	11	0	8	1	2	22
53	シェーグレン症候群	3	0	8	3	2	16
54	成人スチル病	1	1	5	2	1	10
55	再発性多発軟骨炎	1	0	0	0	0	1
56	ベーチェット病	7	1	12	3	5	28
57	特発性拡張型心筋症	5	1	10	1	4	21
58	肥大型心筋症	1	2	1	0	0	4
59	拘束型心筋症	0	0	1	0	0	1
60	再生不良性貧血	5	2	3	4	4	18
61	自己免疫性溶血性貧血	1	0	0	0	1	2
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	0	0	0	0	0	0

63	特発性血小板減少性紫斑病	6	3	6	5	5	25
64	血栓性血小板減少性紫斑病	0	0	0	0	0	0
65	原発性免疫不全症候群	0	1	2	0	0	3
66	IgA 腎症	3	1	8	1	2	15
67	多発性嚢胞腎	5	0	6	1	4	16
68	黄色靱帯骨化症	2	2	6	1	3	14
69	後縦靱帯骨化症	19	11	17	6	9	62
70	広範脊柱管狭窄症	2	0	1	0	0	3
71	特発性大腿骨頭壊死症	10	1	13	2	5	31
72	下垂体性 ADH 分泌異常症	1	2	5	1	1	10
73	下垂体性 TSH 分泌亢進症	0	1	0	0	0	1
74	下垂体性 PRL 分泌亢進症	2	0	0	0	0	2
75	クッシング病	0	0	1	0	1	2
76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0	0	0	0	0	0
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	0	0	2	1	1	4
78	下垂体前葉機能低下症	5	4	5	8	3	25
79	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	0	0	0	0	0	0
80	甲状腺ホルモン不応症	0	0	0	0	0	0
81	先天性副腎皮質酵素欠損症	0	0	1	0	1	2
82	先天性副腎低形成症	0	0	0	0	0	0
83	アジソン病	0	0	0	0	1	1
84	サルコイドーシス	8	2	7	4	3	24
85	特発性間質性肺炎	6	3	10	0	11	30
86	肺動脈性肺高血圧症	1	0	3	1	0	5
87	肺静脈閉塞症 / 肺毛細血管腫症	0	0	0	0	0	0
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	0	1	1	5	0	7
89	リンパ脈管筋腫症	0	0	0	0	0	0
90	網膜色素変性症	11	4	16	4	15	50
91	バッド・キアリ症候群	0	0	0	0	0	0
92	特発性門脈圧亢進症	0	0	0	0	0	0
93	原発性胆汁性胆管炎	4	4	3	3	9	23
94	原発性硬化性胆管炎	0	0	0	1	0	1
95	自己免疫性肝炎	5	0	3	1	2	11
96	クローン病	26	9	39	10	15	99
97	潰瘍性大腸炎	68	21	82	27	46	244
98	好酸球性消化管疾患	1	0	0	0	0	1
99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0	0	0	0	0	0

100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0	0	0	0	0	0
101	腸管神経節細胞僅少症	0	0	0	0	0	0
102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0	0	0	0	0	0
103	CFC 症候群	0	0	0	0	0	0
104	コステロ症候群	0	0	0	0	0	0
105	チャージ症候群	0	0	0	0	0	0
106	クリオピリン関連周期熱症候群	0	0	0	0	0	0
107	全身型若年性特発性関節炎	0	0	0	0	0	0
108	TNF 受容体関連周期性症候群	0	0	0	0	0	0
109	非典型溶血性尿毒症症候群	0	0	0	0	0	0
110	ブラウ症候群	0	0	0	0	0	0
111	先天性ミオパチー	0	0	0	0	0	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	0	0	0	0	0
113	筋ジストロフィー	0	2	1	0	1	4
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	0	0	0	0	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	0	0	0	0	0
116	アトピー性脊髄炎	0	0	0	0	0	0
117	脊髄空洞症	2	1	0	0	2	5
118	脊髄髄膜瘤	0	0	0	0	0	0
119	アイザックス症候群	0	0	1	0	0	1
120	遺伝性ジストニア	0	0	0	0	0	0
121	神経フェリチン症	0	0	0	0	0	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	0	0	0	0	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	0	0	0	0	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	0	0	0	0	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	0	0	0	0	0
126	ペリー症候群	0	0	0	0	0	0
127	前頭側頭葉変性症	2	0	0	0	0	2
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	0	0	0	0	0
129	痙攣重積型（二相性）急性脳症	0	0	0	0	0	0
130	先天性無痛無汗症	0	0	0	0	0	0
131	アレキサンダー病	0	0	0	0	0	0
132	先天性核上性球麻痺	0	0	0	0	0	0
133	メビウス症候群	0	0	0	0	0	0

134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	0	0	0	0	0
135	アイカルディ症候群	0	0	0	0	0	0
136	片側巨脳症	0	0	0	0	0	0
137	限局性皮質異形成	0	0	0	0	0	0
138	神経細胞移動異常症	0	1	0	0	0	1
139	先天性大脳白質形成不全症	0	0	0	0	0	0
140	ドラベ症候群	0	0	0	0	0	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	0	0	0	0	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	0	0	0	0	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	0	0	0	0	0
144	レノックス・ガストー症候群	0	0	0	1	1	2
145	ウエスト症候群	0	0	0	0	0	0
146	大田原症候群	0	0	0	0	0	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	0	0	0	1	1
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	0	0	0	1	1
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	1	0	0	0	1
150	環状 20 番染色体症候群	0	0	0	0	0	0
151	ラスムッセン脳炎	0	0	0	0	1	1
152	P C D H 19 関連症候群	0	0	0	0	0	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	0	0	0	0	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	0	0	0	0	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	0	0	0	0	0
156	レット症候群	0	0	0	0	0	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	0	0	0	0	0
158	結節性硬化症	0	1	0	0	2	3
159	色素性乾皮症	0	0	0	0	0	0
160	先天性魚鱗癬	0	0	0	0	0	0
161	家族性良性慢性天疱瘡	0	0	0	0	0	0
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	2	0	2	0	0	4
163	特発性後天性全身性無汗症	1	0	1	0	0	2
164	眼皮膚白皮症	0	0	0	0	0	0
165	肥厚性皮膚骨膜炎	0	0	0	0	0	0
166	弾性線維性仮性黄色腫	0	0	0	0	0	0
167	マルファン症候群	2	0	2	0	1	5
168	エーラス・ダンロス症候群	0	0	0	0	0	0
169	メンケス病	0	0	0	0	0	0

170	オキシピタル・ホーン症候群	0	0	0	0	0	0
171	ウィルソン病	0	1	1	0	0	2
172	低ホスファターゼ症	0	0	0	0	0	0
173	VATER 症候群	0	0	0	0	0	0
174	那須・ハコラ病	0	0	0	0	0	0
175	ウィーバー症候群	0	0	0	0	0	0
176	コフィン・ローリー症候群	0	0	0	0	0	0
177	有馬症候群	0	0	0	0	0	0
178	モワット・ウィルソン症候群	0	0	0	0	0	0
179	ウィリアムズ症候群	0	0	0	0	0	0
180	A T R - X 症候群	0	0	0	0	0	0
181	クルーゾン症候群	0	0	0	0	0	0
182	アペール症候群	0	0	0	0	0	0
183	ファイファー症候群	0	0	0	0	0	0
184	アントレー・ピクスラー症候群	0	0	0	0	0	0
185	コフィン・シリス症候群	0	0	0	0	0	0
186	ロスムンド・トムソン症候群	0	0	0	0	0	0
187	歌舞伎症候群	0	0	0	1	0	1
188	多脾症候群	0	0	0	0	0	0
189	無脾症候群	0	0	0	0	0	0
190	鰓耳腎症候群	0	0	0	0	0	0
191	ウェルナー症候群	0	0	0	0	0	0
192	コケイン症候群	0	0	0	0	0	0
193	ブラダー・ウィリ症候群	0	0	0	0	0	0
194	ソトス症候群	0	0	0	0	0	0
195	ヌーナン症候群	0	0	0	0	0	0
196	ヤング・シンプソン症候群	0	0	0	0	0	0
197	1 p36 欠失症候群	0	0	0	0	0	0
198	4 p 欠失症候群	0	0	0	0	0	0
199	5 p 欠失症候群	0	0	0	0	0	0
200	第 14 番染色体父親性ダイソミー症候群	0	0	0	0	0	0
201	アンジェルマン症候群	0	0	0	0	0	0
202	スミス・マギニス症候群	0	0	0	0	0	0
203	22q11.2 欠失症候群	0	0	0	1	0	1
204	エマヌエル症候群	0	0	0	0	0	0
205	脆弱 X 症候群関連疾患	0	0	0	0	0	0
206	脆弱 X 症候群	0	0	0	0	0	0

207	総動脈幹遺残症	0	1	0	0	0	1
208	修正大血管転位症	0	0	0	0	0	0
209	完全大血管転位症	0	0	0	0	0	0
210	単心室症	1	1	1	0	0	3
211	左心低形成症候群	0	0	0	0	0	0
212	三尖弁閉鎖症	0	0	0	0	0	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	0	0	0	0	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	0	0	0	0	0
215	ファロー四徴症	1	0	0	0	1	2
216	両大血管右室起始症	0	0	0	1	0	1
217	エプスタイン病	0	0	0	0	0	0
218	アルポート症候群	1	0	0	0	0	1
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	0	0	0	0	0
220	急速進行性糸球体腎炎	0	2	1	0	1	4
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	0	0	0	0	0
222	一次性ネフローゼ症候群	6	1	6	4	1	18
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	0	0	0	1	1
224	紫斑病性腎炎	0	0	3	0	0	3
225	先天性腎性尿崩症	0	0	0	0	0	0
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	0	0	1	0	0	1
227	オスラー病	0	0	0	1	0	1
228	閉塞性細気管支炎	0	0	0	1	0	1
229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	0	0	0	0	0	0
230	肺胞低換気症候群	0	0	0	0	0	0
231	1 - アンチトリプシン欠乏症	0	0	0	0	0	0
232	カーニー複合	0	0	0	0	0	0
233	ウォルフラム症候群	0	0	0	0	0	0
234	ペルオキシソーム病（副腎白質ジストロフィーを除く。）	0	0	0	0	0	0
235	副甲状腺機能低下症	0	0	1	0	0	1
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	0	0	0	0	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	0	0	0	0	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	0	1	0	0	1
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	0	0	0	0	0
240	フェニルケトン尿症	0	0	0	0	0	0
241	高チロシン血症 1 型	0	0	0	0	0	0
242	高チロシン血症 2 型	0	0	0	0	0	0

243	高チロシン血症 3 型	0	0	0	0	0	0
244	メープルシロップ尿症	0	0	0	0	0	0
245	プロピオン酸血症	0	0	0	0	0	0
246	メチルマロン酸血症	0	0	0	0	0	0
247	イソ吉草酸血症	0	0	0	0	0	0
248	グルコーストランスポート-1 欠損症	0	0	0	0	0	0
249	グルタル酸血症 1 型	0	0	0	0	0	0
250	グルタル酸血症 2 型	0	0	0	0	0	0
251	尿素サイクル異常症	0	0	1	1	0	2
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	1	0	0	0	1
253	先天性葉酸吸収不全	0	0	0	0	0	0
254	ポルフィリン症	0	0	0	0	0	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	0	0	0	0	0
256	筋型糖原病	0	0	0	0	0	0
257	肝型糖原病	0	0	1	0	0	1
258	ガラクトース - 1 - リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	0	0	0	0	0
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0	0	0	0	0	0
260	シトステロール血症	0	0	0	0	0	0
261	タンジール病	0	0	0	0	0	0
262	原発性高カイロミクロン血症	0	0	0	0	0	0
263	脳腱黄色腫症	0	0	0	0	0	0
264	無 リポタンパク血症	0	0	0	0	0	0
265	脂肪萎縮症	0	0	0	0	0	0
266	家族性地中海熱	0	1	0	0	0	1
267	高 I g D 症候群	0	0	0	0	0	0
268	中條・西村症候群	0	0	0	0	0	0
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0	0	0	0	0	0
270	慢性再発性多発性骨髄炎	0	0	0	0	0	0
271	強直性脊椎炎	0	0	2	0	0	2
272	進行性骨化性線維異形成症	0	0	0	0	0	0
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0	0	0	0	0	0
274	骨形成不全症	0	0	0	0	0	0
275	タナトフォリック骨異形成症	0	0	0	0	0	0
276	軟骨無形成症	0	0	0	0	0	0

277	リンパ管腫症/ゴーム病	0	0	0	0	0	0
278	巨大リンパ管奇形（頸部顔面病変）	0	0	0	0	0	0
279	巨大静脈奇形（頸部口腔咽頭びまん性病変）	0	0	0	0	0	0
280	巨大動静脈奇形（頸部顔面又は四肢病変）	0	0	0	0	0	0
281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0	0	0	0	0	0
282	先天性赤血球形成異常性貧血	0	0	0	0	0	0
283	後天性赤芽球癆	0	1	1	0	1	3
284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0	0	0	0	0	0
285	ファンコニ貧血	0	0	0	0	0	0
286	遺伝性鉄芽球性貧血	0	0	0	0	0	0
287	エプスタイン症候群	0	0	0	0	0	0
288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	0	0	0	0	0	0
289	クロンカイト・カナダ症候群	0	0	0	0	0	0
290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0	0	0	0	0	0
291	ヒルシュスプルング病（全結腸型又は小腸型）	0	0	0	0	0	0
292	総排泄腔外反症	0	0	0	0	0	0
293	総排泄腔遺残	0	0	0	0	0	0
294	先天性横隔膜ヘルニア	0	0	0	0	0	0
295	乳幼児肝巨大血管腫	0	0	0	0	0	0
296	胆道閉鎖症	0	0	1	0	1	2
297	アラジール症候群	0	0	0	0	0	0
298	遺伝性膀胱炎	0	0	0	0	0	0
299	嚢胞性線維症	0	0	0	0	0	0
300	I g G 4 関連疾患	0	0	2	0	0	2
301	黄斑ジストロフィー	0	0	0	0	1	1
302	レーベル遺伝性視神経症	0	0	0	1	0	1
303	アッシャー症候群	0	0	0	0	0	0
304	若年発症型両側性感音難聴	0	0	0	0	0	0
305	遅発性内リンパ水腫	0	0	0	0	0	0
306	好酸球性副鼻腔炎	2	0	6	2	2	12
307	カナバン病	0	0	0	0	0	0
308	進行性白質脳症	0	0	0	0	0	0
309	進行性ミオクローヌステんかん	0	0	0	0	0	0
310	先天異常症候群	0	0	0	0	0	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	0	0	0	0	0

312	先天性僧帽弁狭窄症	0	0	0	0	0	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	0	0	0	0	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	0	0	0	0	0
315	ネイルパテラ症候群（爪膝蓋骨症候群）/ L M X 1 B 関連腎症	0	0	0	0	0	0
316	カルニチン回路異常症	0	0	0	0	0	0
317	三頭酵素欠損症	0	0	0	0	0	0
318	シトリン欠損症	0	0	0	0	0	0
319	セピアプテリン還元酵素（SR）欠損症	0	0	0	0	0	0
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシト ール（GPI）欠損症	0	0	0	0	0	0
321	非ケトーシス型高グリシン血症	0	0	0	0	0	0
322	ケトチオラーゼ欠損症	0	0	0	0	0	0
323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0	0	0	0	0	0
324	メチルグルタコン酸尿症	0	0	0	0	0	0
325	遺伝性自己炎症疾患	0	0	0	0	0	0
326	大理石骨病	0	0	0	0	0	0
327	特発性血栓症（遺伝性血栓性素因によるも のに限る。）	0	0	0	0	0	0
328	前眼部形成異常	0	0	0	0	0	0
329	無虹彩症	0	0	0	0	0	0
330	先天性気管狭窄症	0	0	0	0	0	0
331	特発性多中心性キャスルマン病	2	0	0	1	0	3
332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0	0	0	0	0	0
333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0	0	0	0	0	0
計		443	171	562	223	314	1,713

ウ 難病患者相談状況

(人)

	訪 問	面 接	電 話	計
実人員	15	78	138	231
延人員	21	112	160	293

エ 難病医療講演会等実施状況

(人)

期 日	場 所	実 施 内 容	参加者数
令和元年 7月21日(日) 14:00~16:30	レイク エコー	パーキンソン病について 講師：霞ヶ浦医療センター 神経内科医師 遠坂 直希 先生	50名
令和元年 9月21日(土) 14:00~16:30	サンポート	パーキンソン病について 講師：県立医療大学付属病院 理学療法科 古関 一則 先生	24名

オ 難病協議会事業

(人)

期 日	場 所	実 施 内 容	参加者数
令和2年 2月3日(月) 13:30~15:30	潮来保健所 会議室	1. 関係者向け研修会： 「県内のレスパイト入院について」 講師：県立中央病院難病相談連絡員 赤尾杉 一枝 先生 2. 協議事項： (1) 今年度の台風時の動きについて (2) 今年度の台風災害時の避難行動 要支援者への対応 (3) 今後の避難行動要支援者の情報 共有について 参加者：訪問看護ステーション管理者・居 宅介護支援事業所職員・各市主管課・茨城 県難病相談支援センター(相談員)・県立 中央病院(難病相談連絡員)・潮来保健所	30名

6 肝炎対策

B型・C型肝炎ウイルス感染者対策として、肝炎ウイルスの無料検査、インターフェロン治療・インターフェロンフリー治療・B型肝炎核酸アナログ製剤治療に係る医療費の助成等を行い、検査から治療までの肝炎総合対策を推進した。

なお、平成26年度から、保健所及び市が実施した肝炎ウイルス検査陽性者に係るフォローアップとして、各市の担当者と連携し、初回精密検査及び定期検査費用助成(年1回)や受診勧奨・受診状況の確認等を実施している。

肝炎ウイルス検査・相談は、性感染症と併せて、毎週金曜日(9:30~11:00)と第1木曜日の夜間(17:00~19:00)を予約制で実施した。保健指導課で実施

また、6月の肝炎週間に合わせてホームページやFM かしまにより、住民への正しい知識の普及啓発を行った。

ア 肝炎年次別相談件数

(B型肝炎)

(人)

区分 年度	相 談						抗 体 検 査		
	電 話			来 所			男	女	計
	男	女	計	男	女	計			
令和元年度	3	0	3	26	12	38	114	44	158
平成30年度	1	0	1	0	0	0	69	26	95
平成29年度	0	0	0	0	0	0	47	41	88
平成28年度	0	1	1	0	1	1	55	32	87
平成27年度	0	0	0	0	3	3	68	33	101
平成26年度	0	0	0	1	3	4	94	59	153

(C型肝炎)

(人)

区分 年度	相 談						抗 体 検 査		
	電 話			来 所			男	女	計
	男	女	計	男	女	計			
令和元年度	3	0	3	26	12	38	114	44	158
平成30年度	0	0	0	0	0	0	69	26	95
平成29年度	0	0	0	0	1	1	47	41	88
平成28年度	0	1	1	0	0	0	55	32	87
平成27年度	0	0	0	0	1	1	68	33	101
平成26年度	2	1	3	5	2	7	93	59	152
平成25年度	3	0	3	16	9	25	82	60	142

イ 肝炎治療費助成事業受給状況

(人)

治療内容	受給者数
インターフェロン治療	0
三剤併用療法治療	0
インターフェロンフリー治療	67
核酸アナログ製剤治療	117(更新含む)
計	

ウ 肝炎ウイルス検査陽性者フォローアップ事業

- ・フォローアップ参加者(新規)12名(うち潮来保健所での受検者は3名)
- ・フォローアップ参加者(累計)55名(うち潮来保健所での受検者は7名)
うち16名は治療を開始したため、フォローアップを終了している。
- ・初回精密検査費用の請求件数0件

第 2 - 6 保健指導課

1 結核対策

管内の令和元年末の結核登録患者数は62人であり，うち活動性結核患者数は10人であった。なお，令和元年中の新登録患者は27人で，感染性結核患者数は12人であった。そこで，患者の接触者健診等を確実に実施することにより，結核の早期発見，まん延防止を図り，感染症診査協議会結核部会やコホート検討会などを開催し，適正医療の普及に努めた。

さらに，茨城県DOTS（直接服薬確認療法）事業実施要項により，すべての結核登録患者に対する確実な治療完遂を図るため，家族・関係者とともに服薬支援を行った。

9月の結核予防週間では，FMかしまを活用，また，病院・高齢者施設等担当者研修会で講演会を実施し，住民及び関係者に対して結核の特性と予防意識の向上を図った。

ア 結核患者登録状況

（年末時）

年次	区分	総数	活動性結核				不活動性	活動性不明	（別掲） 潜在性結核感染症
			肺結核			肺外結核			
			登録時 喀痰塗抹陽性	登録時 その他の結核菌陽性	登録時 菌陰性・その他				
鹿嶋市		15	5	4	1	1	9	0	12
潮来市		1	0	0	0	0	1	0	4
神栖市		28	3	2	1	2	23	0	20
行方市		10	2	1	1	1	7	0	2
鉾田市		8	0	0	0	1	7	0	3
令和元年		62	10	7	3	5	47	0	41
平成30年		59	7	1	0	1	50	0	46
平成29年		61	11	2	3	3	42	0	51
平成28年		54	6	3	5	8	29	3	41
平成27年		59	9	3	2	7	33	5	20

イ 新登録患者数

（毎年1月1日～12月31日）

年次	区分	総数	活動性結核				（別掲） 潜在性結核感染症
			肺結核			肺外結核	
			喀痰塗抹陽性	その他結核菌陽性	菌陰性・その他		
鹿嶋市		8	5	1	0	2	5
潮来市		2	0	0	0	1	1
神栖市		10	4	2	1	3	11
行方市		4	1	1	0	2	2
鉾田市		3	2	0	0	1	2
令和元年		27	12	4	1	10	21
平成30年		22	15	3	0	4	15
平成29年		21	12	4	2	3	14
平成28年		27	7	6	5	9	23
平成27年		29	12	3	5	9	10

ウ 管理検診及び接触者健診状況（令和元年度）

（人）

項目		区分	対象者	QFT	ツ反	胸部エックス線		喀痰検査
						間接	直接	
管理検診		委託医療機関	115	0	0	0	115	6
接触者健診	家族患者	保健所	45	45	0	0	0	0
		委託医療機関	19	9	0	0	14	0
	接触者	保健所	60	60	0	0	0	0
		委託医療機関	123	0	0	0	123	0
		胸部検診車	37	0	0	0	37	0

エ 定期結核健康診断状況（令和元年度）

（人）

区分		対象施設	対象者数	受診者数	受診率	発見患者数
事業者		361	6,114	5,974	98.2	0
学校長		15	2,280	2,267	99.4	0
内 訳	高等学校	12	2,179	2,173	99.7	0
	大学(短大)	0	0	0	-	0
	その他	3	101	99	98.0	0
施設長		45	1,601	1,578	98.6	0
市町村長(65歳以上)		5	68,924	26,788	38.9	0

オ 地域 DOTS 実施状況

対象者：すべての結核登録患者（令和元年度）

（人）

訪問指導				相談	
				電話	来所
実人員	延人員		延人員	延人員	延人員
	(再掲)DOTS	(再掲)DOTS			
27	27	40	32	204	25

・DOTSカンファレンス

茨城東病院：3回参加 筑波学園病院：2回参加

千葉県海匝保健所：3回参加 千葉県香取保健所：2回参加

・コホート検討会

潮来保健所 令和2年3月4日実施

カ 感染症法第37条の2公費負担状況 各年末 (人)

区 分	総 数	被用者保険		国民健康保険			後期 高齢者	生活 保護法	その 他
		本 人	家 族	一 般	退職本人	退職家族			
令和元年	11	4	0	3	0	0	3	1	0
平成30年	12	5	2	3	0	0	2	0	0
平成29年	15	4	1	6	0	0	3	1	0
平成28年	19	8	0	7	0	0	0	4	0
平成27年	20	4	2	6	0	0	7	1	0

キ 感染症法第37条公費負担状況(入院勧告) 各年末 (人)

区 分	総 数	被用者保険		国民健康保険			後期 高齢者	生活 保護法	その 他
		本 人	家 族	一 般	退職本人	退職家族			
令和元年	4	1	0	1	0	0	2	0	0
平成30年	4	1	0	2	0	0	0	1	0
平成29年	2	0	0	0	0	0	2	0	0
平成28年	2	0	0	0	0	0	1	1	0
平成27年	2	0	0	0	0	0	1	1	0

2 疾病予防対策

(1) 感染症予防対策

感染症発生時は、情報の把握とまん延防止のため、速やかに患者・接触者に対して積極的疫学調査及び健康診断を実施した。社会福祉施設等では感染性胃腸炎による集団嘔吐・下痢の事例が毎年発生しているため、衛生課・健康増進課と協力し、巡回指導を実施するとともに、集団指導も行い、感染症予防及び発生時の対応についての指導を行った。

なお、学校欠席者情報システム及び保育園欠席・発症者情報収集システムを活用した発生状況の監視を行い、茨城県感染症発生動向調査事業実施要領に基づき、オンラインシステムにより患者情報を伝送し、還元された患者及び病原体情報を管内市や地区医師会・定点医療機関に提供した。

新型コロナウイルス感染症については、令和2年1月28日付で指定感染症に位置付けられたことにより、保健所には、1月31日から電話相談窓口が設置され、2月5日に「帰国者・接触者相談センター」として相談に応じた。心配のある相談者の受診調整や、PCR検査の実施についても医療機関と連携し、感染者の早期発見と蔓延防止に努めた。

また、発熱患者を診療できない医療機関が増加し、深夜に救急隊からの相談も増加する現状を踏まえ、医師会や病院、消防関係者、各市との連絡会等を2月から開催し、情報共有及び今後の体制の検討を実施した。(地域保健推進室の会議においても、新型コロナウイルス感染症のテーマを検討した。)

3月28日(土)深夜に、潮来保健所管内で初めての感染者の報告(北総育成園の関連の感染者)が5名あり、以後クラスター対応に従事した。

ア 社会福祉施設等巡回指導

施設内訳	保育所・ 認定こども園	障害者・高齢者施設等	計
指導数	4	1	5

イ 集団指導

* 社会福祉施設職員への指導

期 日	対象施設・参加者数（人）	内 容
令和元年 7 月 4 日	学童クラブ支援 員，株式会社ア ンフィニ 保育 担当者 11 名	講演：感染性胃腸炎の拡大防止のための 予防について 個人防護具の着け方・外し方，手洗い， 嘔吐物処理方法
令和元年 8 月 30 日 9 月 3 日	潮来保健所・銚 田保健所管内施 設職員・市職員 児童福祉施設 高齢者施設 計 158 名	講演：施設の感染管理 行政説明： 結核（のみ）・感染症発生時の報告につ いて 給食施設の衛生管理（衛生課） 施設の栄養管理（健康増進課）

ウ 一類～五類感染症発生状況（結核を除く）

（令和元年度）

区 分 類型別	発 生 状 況		積極的疫学 調査件数
	疾 患 名	件 数	
一類感染症	なし		
二類感染症	新型コロナウイルス	0（千葉で11届出）	11
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症（0-157）	4	5 （うち1件 ベロ毒素不検出）
	腸管出血性大腸菌感染症（0-25）	0	1 （ベロ毒素不検出）
	腸管出血性大腸菌感染症（0-91）	0	1 （ベロ毒素不検出）
	腸管出血性大腸菌感染症（0-186）	1	1
四類感染症	E 型肝炎	3	3
	つつが虫	2	2
	レジオネラ症	12	12
五類感染症	アメーバ赤痢	4	4
	ウイルス性肝炎	1	1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	1
	後天性免疫不全症候群 （HIV 感染症含む）	1	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	1	1
	水痘（入院例）	0	1 疑い
	梅毒	3	3
	百日咳	15	15
風疹	1	1	

* サルモネラ症患者家族に対し疫学調査 9 件実施

エ 施設等における感染症の集団発生対応

感染症	対応件数	件数
感染性胃腸炎（集団発生対応）	6（保育園，小学校）	6（保育園，小学校）
インフルエンザ（集団発生対応）	1（小学校）	13（保育園，障害者施設）
バチルス族セレウス菌（集団発生対応）	1（病院）	1（病院）
肺炎球菌（集団発生対応）	1（高齢者施設）	1（高齢者施設）
手足口病（集団発生対応）	1（保育園）	11（保育園）
水痘（集団発生対応）	0	1（保育園）

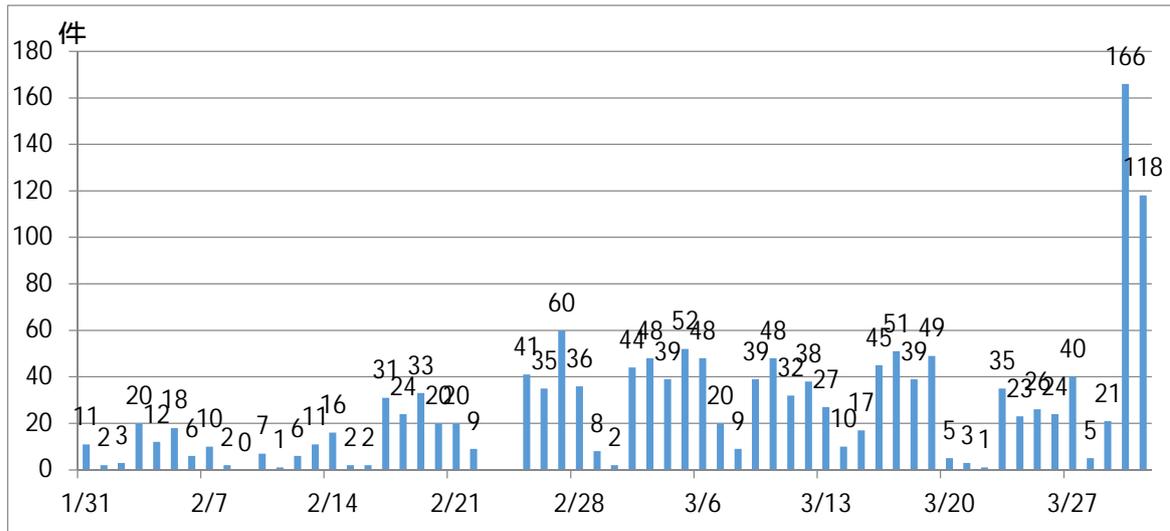
オ 感染症発生動向調査事業定点医療機関一覧

（令和元年度）

医療機関名	定点の区分				
	小児科	インフルエンザ	眼科	STD	基幹
武藤小児科医院					
神栖済生会病院					
三笠小児科クリニック					
飯島内科					
白十字総合病院					
鹿島病院					
医療法人永木胃腸外科医院		○			
土浦協同病院なめがた地域医療センター	○				
医療法人三尚会高須病院		○			
樫山診療所	○				
たきもとクリニック		○			
医療法人白翔会白石医院	○				
井上眼科医院					
葉山産婦人科医院					
曾内科クリニック				○	

カ 新型コロナウイルス感染症電話相談窓口受付状況

* 2月5日～帰国者・接触者相談センター（1月～3月末の総数 実 1,597 件）



キ 新型コロナウイルス感染症PCR検査実施状況

医療機関で検体を採取し、保健所が衛生研究所に搬送し検査。 合計 30 件

	受検者居住地						計	検体採取機関		計
	鹿嶋市	潮来市	神栖市	行方市	銚田市	他市		病院	診療所	
1月			1				1	1		1
2月	3	3	1	3	1	2	13	13		13
3月	4	2	5	3	1	1	16	14	2	16
計	7	5	7	6	2	3	30	28	2	30

集団PCR検査（ドライブスルー方式で検体採取）

3月31日 診療所駐車場で鼻咽頭拭い液によるPCR検体採取。 合計 11 件

ク 新型コロナウイルス感染症関連会議開催状況

日時	会議	場所	出席者数
2月6日(木) 15:00～16:30	鹿行地域新型コロナウイルス感染症関係 機関連絡会	保健所2階 大会議室	38名
3月4日(水) 18:00～20:15	鹿行地域新型コロナウイルス感染症に係 る病院長懇談会	〃	34名
3月11日(水) 18:00～20:00	(令和元年度鹿行保健医療福祉協議会)	〃	64名
3月18日(水) 19:00～21:00	第2回鹿行地域新型コロナウイルス感染 症に係る病院長懇談会	〃	35名
3月19日(木) 15:00～16:30	新型コロナウイルス感染症対応に係る管 内5市保健・高齢福祉等担当課長会議	〃	23名

(2) エイズ・性感染症予防対策

令和元年までの茨城県におけるHIV感染者及びエイズ患者の累計報告件数は、HIV感染者561人・エイズ患者337人となった。

性感染症及び肝炎検査・相談は、毎週金曜日(9:30~11:00)と第1木曜日の夜間(17:00~19:00)は、予約制を導入し、来所者のプライバシーに配慮して対応した。

検査で、陽性の判定の場合には、結果告知の時間を設け、医療機関受診ができるように丁寧に対応した。

また、専門学校技能実習生や美容組合の組合員に対し、衛生教育を実施し、FMかしまの「食と健康」の放送においても、エイズ・性感染症予防知識や検査について周知した。

ア 性感染症年次別相談

〔エイズ〕

(人)

区分 年度	相 談						抗 体 検 査			夜間検査(再掲)		
	電 話			来 所			男	女	計	男	女	計
	男	女	計	男	女	計						
令和元年度	26	4	30	33	13	46	114	42	156	21	12	33
平成30年度	9	0	9	1	0	1	63	24	87	17	4	21
平成29年度	7	2	9	2	2	4	48	41	89	11	13	24
平成28年度	13	3	16	2	2	4	54	32	86	14	14	28
平成27年度	2	1	3	5	0	5	76	29	105	25	7	32

〔クラミジア〕

(人)

区分 年度	相 談						抗 原 検 査			夜間検査(再掲)		
	電 話			来 所			男	女	計	男	女	計
	男	女	計	男	女	計						
令和元年度	5	2	7	27	13	40	113	37	150	22	8	30
平成30年度	3	0	3	0	0	0	58	22	80	17	4	21
平成29年度	1	0	1	2	0	2	47	41	88	11	13	24
平成28年度	10	4	14	1	0	1	54	32	86	14	14	28
平成27年度	0	0	0	0	0	0	74	28	102	23	6	29

〔 梅 毒 〕

(人)

区 分 年 度	相 談						抗 体 検 査			夜間検査(再掲)		
	電 話			来 所			男	女	計	男	女	計
	男	女	計	男	女	計						
令和元年度	5	1	6	26	13	39	112	42	154	21	11	32
平成30年度	3	1	4	0	0	0	63	24	87	17	4	21
平成29年度	0	0	0	0	0	0	47	41	88	11	13	24
平成28年度	12	3	15	1	1	2	54	32	86	14	14	28
平成27年度	0	0	0	0	1	1	73	28	101	22	6	28

イ 健康教育

(人)

内 容	対 象	人 数
講話：「エイズ・性感染症について」 講師：潮来保健所保健指導課 保健師 薬物乱用防止（衛生課）と併せて実施	県立鹿島産業 技術専門学院	23名
講話「HIV・エイズについて」 講師：潮来保健所保健指導課 保健師 美容所における衛生消毒について（衛生課） と改正健康増進法に係る受動喫煙防止について	美容関係	90名

3 原子爆弾被爆者医療対策

管内の令和元年度被爆者健康手帳保持者は37人であり、「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」に基づき事業を実施した。

ア 定期健康診断(一般検査)及びがん健診 ()は第一種健康診断受診者

区 分	対象者数	受診者数	受診率	要精密者数	要精密率
第1回	34(1)人	5(1)人	17.1%	1(0)人	16.6%
第2回	33(1)人	2(0)人	6.0%	0(0)人	0%

イ 各種手当等申請状況

内 容	件数
葬祭料支給申請	2件
訪問介護等利用被爆者助成受給者資格認定申請	3件
健康管理手当認定申請	1件
一般疾病医療費支給申請書	1件

ウ 被爆二世の健康診断

健康診断を希望する被爆二世に対する健康診断（年1回） 受診者5名

4 精神保健福祉対策

(1) 一般・老人精神保健相談及び薬物相談

精神障害者及び認知症患者、薬物依存症者等の早期発見・早期治療の促進及び患者の社会適応を援助するとともに、病状悪化や再発防止、また家庭内調整を図るため、患者及びその家族等に対し、嘱託医による相談を月2回（第1・3木曜日）実施した。銚田保健所では、月1回計画したが実績はなかった。

ア 精神保健相談等実施状況

	精神保健相談	薬物相談
実施日	木曜日（月2回） 13:00～15:00	第4金曜日 13:00～16:00
対応者	嘱託医：高濱浩輔氏	精神保健福祉センター 保健所
相談 件数	実件数 13 延件数 14	実件数 5 延件数 5

イ 相談・訪問指導等実施状況 (人)

区分	実人員	延人員
相談	48	74
訪問指導	47	82
電話・WEB相談	195	824
計	290	980

(2) 精神障害者の救急対応

精神障害による自傷他害のおそれがあると通報があった者に対し、適正な医療の確保を図るため、医療及び行政等関係機関との連携のもと、事前調査、診察要否の決定、診察及び移送を行った。その結果、診察が必要となった9件のうち5件に自傷他害のおそれがあり、措置入院となった。また、措置診察は不要であるが、医療が必要と判断した6件に対して、受診や入院治療ができるよう調整を行った。また、精神保健福祉センターが休日夜間対応を担い、4件の23条通報に対応した。

措置入院患者に対しては、入院後3か月程度で、また、長期医療保護入院患者に対して精神保健指定医を派遣し、入院の要否についての審査（実地審査）を実施した。

通報などによる診察件数 (件)

根拠条項	通報件数	診察 不要	診察結果			
			要措置	要医療 (入院)	要医療 (入院外)	医療不要
23条(警察官)	13	8	5	0	0	0
24条(検察官)	7	4	2	1	0	0
26条(矯正施設)	22	21	0	0	1	0
計	42	33	7	1	1	0

実地審査件数 措置入院 2回 医療保護入院 1回 4件

(3) ひきこもり対策推進事業

ア ひきこもりに関する相談及び支援

ひきこもり状態にある者を抱える家族等からの相談を受け、家族への支援を通して関係機関・団体等との連携を図り、当事者のひきこもりからの回復を支援するため、電話・所内面接・訪問等により支援を行った。

イ 専門相談

精神科医を相談員として依頼し、ひきこもり専門相談を月1回実施し、適切な対応等について助言・指導した。

実施日	相談員	相談件数
第1水曜日 14:00～16:00	医師：内田 薫氏	実件数 3 延件数 3

ウ 家族教室

ひきこもり状態にある者を抱える家族等を対象として、ひきこもりに関する正しい知識と対応方法についての啓発や家族同士の交流をとおして、ひきこもり者の理解と適切な対応ができるよう支援した。

ひきこもり家族教室（三水会）実施状況

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計12回
参加者数	10	13	10	10	8	9	8	5	7	9	8	9	(実/延) 16/106

日時：毎月第3水曜日 13:30～15:30 場所：潮来保健所

アドバイザー めだかの学校代表 高橋 眞理子 氏

(4) 心の健康づくり地域啓発推進事業

支援者を対象に、アルコール専門病院，自助グループ，回復者家族の講和及び意見交換により、「こんなときどうする？」と題して、効果的な相談対応ができるよう知識を普及した。

アルコール依存症に関する講演会実施状況

期 日	場 所	実施内容	参加者数
令和元年 10月7日(月) 13:00～15:30	銚田保健所	「アルコール依存症の回復」 講話1 アルコール依存症からの回復 講話2 自助グループによる支援 講話3 回復者家族の体験談 銚田保健所と共催で実施	医療機関 2名 行政機関 27名 警察機関 2名 計 31名

(5) 精神障害者の地域定着及び地域移行支援

入院中の精神障害者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう，精神障害者の円滑な地域移行及び地域定着を図り，関係機関の連携強化を目的とした地域移行支援協議会を開催した。

また，地域の措置入院患者の地域定着・地域移行支援ケースとして2件について支援を開始した。

管内各市の地域自立支援協議会委員として，障害者計画及び障害福祉計画の進捗管理や専門部会活動に参画した。

地域移行支援連絡協議会実施状況

期 日	令和元年6月3日
内 容	精神科医療及び退院支援について 潮来保健所管内の支援体制について
出席者	市保健・障害・高齢担当課及び地域包括支援センター職員 精神障害者福祉サービス提供事業所職員 計19名

地域定着・地域移行支援ケース 2件

市	件数	進捗状況（年度末現在）	病院名
鹿嶋市	1	在宅 通院継続中	みやざきホスピタル
神栖市	1	在宅 通院継続中	みやざきホスピタル

事例検討会の開催状況

実施回数	検討人数	出席者総数
23回	14名	221名

(6) 自殺対策事業

自殺にかかる随時相談や3月の自殺防止月間において，FMかしまの活用と行政及び関係者との協力のもと，住民への啓発活動を行った。

自殺対策事業実施状況

期 日	対 象 者	内 容	配布部数
令和2年 3月4日	管内住民	FMかしま 「自殺予防について」放送	-

5 アスベストによる健康被害対策

「石綿による健康被害の救済に関する法律」に基づく救済給付制度の認定申請等の受付，健康相談などの対応窓口となっている。

アスベスト関係申請状況

認定申請及び療養手当請求　：平成 29 年度 1 件　平成 30 年度 1 件
平成 31 年度 2 件

6 保健師の人材育成

(1)管内の統括的役割の保健師等による管内保健師代表者会議の開催

保健所，各市における保健師の人材育成の現状と課題及び，重点事業について情報交換等することで，管内保健師の人材育成の推進を図ることができた。

鹿行地区統括保健師等連絡会・・・3 回開催　延べ参加者 34 名

(2)管内保健師業務研究会

銚田地区・潮来地区それぞれに，市の保健師と研修や情報交換・連携強化を図るため，計画的に研修会を開催し，保健師としての自己研鑽に務めた。

<銚田地区>　年6回開催　延べ参加者　149名

<潮来地区>　年6回開催　延べ参加者　101名

* 潮来地区の業務研究会は、令和元年度を最後に閉会となった。

7 神栖市におけるヒ素汚染健康被害にかかる健康危機管理対策

平成 15 年 3 月に発覚した，神栖市における飲用井戸水の有機ヒ素化合物(ジフェニルアルシン酸：DPAA)による住民の健康被害に対して，引き続き緊急措置事業を実施して健康不安の解消や新たな被害の発生防止等を図った。

(1)神栖ヒ素汚染健康相談室の対応

「神栖ヒ素汚染健康相談室(平成 25 年 4 月に保健指導課内に設置，健康相談員配置)」において，医療手帳交付者への訪問活動を行い，健康状況の把握や各種情報の提供に努めるとともに，住民からの相談窓口として親切・迅速な対応を心がけた。　医療手帳交付者　157 人

令和元年度訪問実績　36 世帯・374 回　相談票　延べ7 件

主な相談内容：医療手帳保持者と医療機関との連絡調整。緊急措置事業の説明等

(2)緊急措置事業の実施

ア 医療手帳交付者への対応

- ・健康診査実施に関する連絡調整
- ・小児特定診療に関する連絡調整

イ 小児支援体制整備事業の実施

- ・小児支援調整実務者会議(年 1 回)
令和元年 12 月 25 日
- ・小児支援調整検討会議(年 1 回)
令和元年 12 月 25 日

ウ 環境省等主催の会議への協力

- ・ DPAA(ジフェニルアルシ酸)に係る健康影響等についての臨床検討会
 - 第1回 令和元年6月10日
 - 第2回 令和2年1月23日
 - 第3回 令和2年3月16日
- ・ DPAA 研究推進委員会
 - 第1回 令和元年8月27日
 - 第2回 令和2年2月4日
- ・ DPAA 等の健康影響に関する調査研究に係る疫学研究ワーキンググループ
 - 第1回 令和元年12月6日
 - 第2回 令和2年2月28日
- ・ DPAA 等の健康影響に関する調査研究に係る診療記録等分析ワーキンググループ
 - 第1回 令和2年2月12日
- ・ DPAA 等のリスク評価に係るワーキンググループ
 - 第1回 令和2年2月19日
 - 第2回 令和2年3月17日

【 参考資料 】

神栖市における飲用井戸ヒ素汚染の主な経過について

平成 15 年

3月17日(月) 筑波大学付属病院神経内科医師から「神栖町の住民(A地点)が手足のしびれ,ふるえ等の症状を訴えているので,井戸水の検査をしてほしい」との依頼

* 当該井戸使用世帯: 転居者を含め12世帯・33人(うち体調不良18人)
水質検査の結果, 4.5mg/Lの高濃度のヒ素(基準値の450倍)を検出

20日(木) 県健康危機管理委員会開催(以後随時)

対応策協議(県・町)

井戸の使用禁止及び周辺井戸の使用自粛を指導

水道への転換の呼びかけ

行政水質検査の実施及び自主的検査の呼びかけ

21日(金)~ 飲用井戸水の行政検査(A地点から半径500m以内)

・健康調査 ・毛髪調査 ・高濃度検出井戸周辺の表層土壌調査

・ポーリング調査 ・水質相談

・健康相談の窓口設置(潮来保健所・神栖町役場ロビー)

29日(土) 地区住民説明会開催

6月4日(水) 環境省 ヒ素汚染に係る緊急措置を発表

30日(月) 環境省による緊急措置に関する説明会

ヒ素汚染被害者(A地区30人)に医療手帳を交付

平成 17 年 1 月

人工的な土地改変がされた埋土層の中から高濃度ジフェニルアルシ酸を含むコンクリート様の塊等を発見し, 土壌中及当該塊の中から多数の飲料用缶(製造年月日1993(平成5)年6月28日)を確認。

平成 17 年 6 月

汚染メカニズム解明のための調査中間報告書

(概要)A井戸南東90m地点で発見されたコンクリート様の塊がA井戸等の地下水汚染源である可能性が高く, 平成5年6月以降に投入された可能性が高い。

平成 17 年 7 月

追加的な掘削調査を実施し, 新たなコンクリート様の塊を発見。

平成 17 年 9 月

この結果を踏まえた「神栖市における汚染メカニズム解明のための調査中間報告書追補版」公表。

(概要)ジフェニルアルシ酸約290kg(ヒ素換算値)が約87トンのコンクリートのようなものに混ぜられて投入された可能性が高い。

汚染土壌等の処理

平成 18 年 1 月 21 日
～平成 19 年 12 月 25
日

掘削調査等により除去した汚染土壌及びコンクリート様の塊については、鹿島共同再資源化センターにおいて焼却処理を実施。環境モニタリングにより同センター周辺の大気及び土壌から有機ヒ素化合物は検出されず、適切に処理されたことを確認。

(処理量)	・汚染土壌	2,033 トン
	・コンクリート様の塊	115 トン
	・汚染米	14 トン

平成 19 年 6 月

神栖市における汚染メカニズム解明のための調査 地下水汚染シミュレーション等報告書」を発表。

地下水モニタリングの状況から B 地区，AB トラック南西地域では A 井戸周辺や掘削調査地点で確認されている高濃度の地下水汚染は確認されていない。

汚染状況を再現した結果，A 井戸周辺，B 地区，AB トラック南西地域等で確認されている地下水汚染について，いずれも A 井戸南東 90m 地点で発見されたコンクリート様の塊が汚染源であると考えられる。

旧軍関連施設及び旧軍毒ガス兵器に関する情報収集調査を行った結果，神栖市の事案に関しては，旧軍毒ガス兵器の廃棄・遺棄行為によるものではないと判断される。また，旧内閣中央航空研究所に係る情報収集調査を行った結果，終戦後における木箱の搬送に係る証言情報及び旧内閣中央航空研究所は，くしゃみ剤やそれに関連する毒ガス兵器とは関係ないと判断される。

及び より，B 地区や AB トラック南西地域には別の汚染源が存在する可能性は低く，A 井戸南東 90m 地点において，平成 5 年 6 月以降に投入されたと推定されるコンクリート様の塊が地域全体の地下水汚染源である可能性が高い。また， を踏まえると，DPAA は神栖市内にかつて存在していた旧軍関連施設において製造・保有されていたものではない。

「茨城県神栖市における有機ヒ素化合物に係る環境汚染及び健康被害に係る緊急措置事業」概要

(1) 趣旨・目的

有機ヒ素化合物（ジフェニルアルシン酸：DPAA）のばく露が確認できた者に対し，健康診査を行うとともに，医療費等を給付し治療を促すことを通じて，当該者に係る症候及び病態の解明を図り，もってその健康不安の解消等に資する。

(2) 対象者（医療手帳交付対象者）

以下の要件を満たし，専門家による検討会（環境省）の審査を経て，有機ヒ素化合物（DPAA）のばく露が確認された者。

- ア 有機ヒ素化合物汚染井戸水飲用住宅へ居住する（居住していた）者
- イ 毛髪・爪検査等によりばく露が確認された者

(3) 緊急措置事業の内容（給付内容等）

ア 対象者全員に給付するもの

- ・ 医療費（自己負担分を公費負担）
- ・ 療養手当（通院：月15,000円，入院：月25,000円，併給なし）
- ・ 健康診査（年1回，公費負担）

- イ 特に汚染の著しい井戸水（A井戸）の飲用者に給付するもの
 - ・ 健康管理調査費用（月20,000円）
- ウ 精神発達調査の実施
 - 小児期にDPAAにばく露し、精神遅滞がみられた者
 - ・ 精神発達調査費用（月50,000円）
- エ 小児支援体制整備事業の実施
 - ・ 医療手帳の交付を受けた15歳以下の者のうち、親権者等から申請のあった者に対して、医療・発達・教育・福祉等の多角的な観点から、一人一人の成長過程に応じた支援体制を整備する。
- オ 専門家による調査研究の実施
 - ・ 医療給付を通じて得られた資料等に基づく健康影響等解明のための調査研究

汚染源と考えられるコンクリート塊（神栖市における有機ヒ素汚染源調査についてのお知らせ 第12号）



東西10m×南北8m×深さ2mのコンクリート様の塊



西側で発見されたコンクリート様の塊
（東西1.2m×南北3m以上×深さ1.5m以上）



北側で発見されたコンクリート様の塊
（東西1m×南北2m×深さ50cm）

第3 令和2年度事業計画

令和2年度事業推進の方針

少子高齢社会の進展により、人口構造や疾病構造の変化や県民の健康への関心の高まりなど、保健医療を取り巻く環境は大きく変化しています。

また、食の安全に対する県民の意識は高まり、新型インフルエンザ等の新興感染症や地下水ヒ素汚染等の健康危機管理対策など新たな課題も数多く生じております。

こうした状況を踏まえて、県では医療法の規定に基づき、5疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患）5事業（救急医療、災害時医療、へき地医療、周産期医療、小児医療）及び在宅医療に係る医療連携体制を確立し、医師・看護師等の医療従事者の確保、良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保、県総合計画の部門別計画として基本計画や生活大県プロジェクトの推進を図るため、第7次保健医療計画を平成30年（2018年）度から令和5年（2023年）度の6年間を計画期間とし策定しています。

さらに、平成26年6月の「医療介護総合確保推進法」の制定に伴い、平成27年度から、令和7年（2025年）を見据えた医療提供体制の構築に向け、その地域にふさわしい医療機能の分化と連携を適切に推進するために、平成28年12月に地域医療構想を策定しています。

令和元年度には第7次保健医療計画の一部として、外来医療に係る機能分化・連携の方針等、医療提供体制の確保を図るため「外来医療計画」を策定しています。

限られた医療資源を有効に活用して、県民が安心して医療を受けられる保健医療体制を整備することをめざし、医療機関の役割分担や在宅と医療の連携体制の推進、医師をはじめ医療従事者の確保等に取り組むとともに、県民誰もが安心して暮らせる保健の充実、食品の安全管理や健康危機管理の強化など安全快適な生活環境づくりを推進しています。

- 1 「安心して医療を受けるための医療従事者の確保」
- 2 「行政、県民、医療機関等の協働による医療環境の向上」
- 3 「予防医学の推進による生涯にわたる健康づくりの推進」
- 4 「少子化・高齢化への対応と誰もが安心して暮らせる環境づくり」

潮来保健所では、県計画を踏まえて、また、近年の環境の変化と新たな課題に対応するため、鹿行圏域における保健・医療・福祉の連携を図るとともに以下の事業を推進し、住民が身近なところで質の高い医療を受けることができる保健医療体制の整備と安全で安心な生活環境づくりをめざしてまいります。

1 総務課・地域保健推進室

(1) 鹿行保健医療福祉協議会の開催

鹿行保健医療圏における保健・医療・福祉関係者から意見を求め、圏域の実情を踏まえた総合的な保健医療施策を計画的に推進し、健康で安全・安心な地域づくりを目指すために年1回以上開催する。

(2) 茨城県保健医療計画（第7次）の進行管理および地域医療構想の推進

医療法の規定に基づき、5疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患）・5事業（救急医療、災害時医療、へき地医療、周産期医療、小児医療）及び在宅医療に係る医療連携体制を確立し、医師・看護師等の医療従事者の確保、良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保、県総合計画の部門別計画として基本計画や生活大県プロジェクトの推進を図るため、平成30（2018）年度から2023年度の6年間を計画期間とし策定されている第7次保健医療計画の進行管理を行う。

平成26年6月の「医療介護総合確保推進法」の制定に伴い、令和7年（2025年）を見据えた医療提供体制の構築に向け、その地域にふさわしい医療機能の分化と連携を適切に推進するために平成28年12月に策定した地域医療構想の推進を図る。

令和2年度においては、地域医療構想に掲げた「在宅医療の充実」に向け地域包括ケアシステムを推進するために、平成30年度に地域医療構想調整会議に設置した在宅医療検討ワーキング会議における検討結果をふまえ、高齢者の急変時の対応や終末期の医療のあり方について地域住民への普及啓発を行う。

(3) 茨城県の高齢者福祉計画・介護保険事業支援計画に基づく市町村支援

国における平成27年の介護保険制度の改正により、地域支援事業の拡充などの様々な見直しが行われ、平成27年1月には、国家戦略として認知症対策を位置付ける認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）が策定されている。

県では「『茨城型地域包括ケアシステム』構築による誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる社会の実現」を政策目標に掲げ、団塊の世代が全て75歳以上に達する令和7年（2025年）を見据えながら、令和2年度末までに取り組むべき施策の方向を明らかにした「第7期いばらき高齢者プラン21」が策定されている。第7期プランは、「健康・生きがいづくりの推進と生活支援サービスの充実」「認知症への対応と高齢者の尊厳の保持」「利用者本位の介護サービスの充実」「在宅医療と介護連携の推進」「安全・安心なまちづくりの推進」を施策の柱に位置づけ、在宅医療の体制整備や介護予防・重度化防止、認知症対策に取り組んでいくこととしている。

(4) 医療施設の立入検査

病院・診療所等（鹿嶋市，潮来市，神栖市，行方市，鉾田市）に対し、医療法第25条に基づく立入検査を実施し、医療に係る安全管理体制、医療事故防止及び感染予防対策等について指導助言し、適正な医療確保に努める。

(5) 救急医療体制の確保

ア.小児救急体制の確保

初期救急医療については、在宅当番医制及び鹿嶋市夜間小児救急診療所等により整備されつつあるが、小児医療においては24時間365日体制で、

入院を要する小児救急医療が確保されていない。平成23年度より神栖済生会病院に常勤小児科医が増員されて以降、安定した医療提供が行われているが、今後も鹿行南部地域における小児救急を破綻させることなく、小児医療体制の確保に努める。

イ 鹿行南部地域の救急医療体制の確保

急激な医師不足等による、二次救急の運営や救急車の受入等に支障を来している状況のなか、今後の鹿行地域の医療体制に応じた地域救急を推進するため、地域医療構想の策定をふまえ、鹿行地域における救急医療の方向性についての検討を継続する。

(6) 地域ケアシステム事業の推進

地域全体で総合的な在宅医療・介護サービスを提供できる地域包括ケアシステム構築を目指して、介護保険制度をはじめとする各種施策と医療との有機的な連携を図り、茨城型地域包括ケアシステムを推進するために、市が開催する地域ケアシステム会議や在宅医療介護連携推進事業等に参加し、地域ケアの充実・支援に努める。

また、地域リハビリネットワークの普及促進を図る。

(7) 介護保険制度の支援指導

介護保険施設等に対する実地指導を行い、適切な介護サービスの確保・向上に努める。

また、介護予防と地域包括ケアの定着を推進するため、介護予防事業担当者研修会等を開催するなど地域包括支援センターの支援に努める。

(8) 健康危機管理対策

管内で発生し、または発生の恐れがある広域的かつ大規模な健康危機に対し、迅速かつ適切に対応するため、健康危機管理体制の整備及び情報の共有化に努める。国の災害医療施策を受けて、鹿行管内では平成26年度に災害医療対策協議会を設置し、平時から、関係者間の連絡体制の確保に努めている。

平成28年度からは、県の方針により二次医療圏ごとに「災害保健医療対策協議会」を設置、さらに平成29年6月に「地域災害医療コーディネーター」が委嘱され、災害時の医療連携体制の整備に努める。

(9) 人口動態及び厚生統計

出生、死亡等の人口動態や医療施設調査、保健統計調査、国民生活基礎調査等を実施し、適切な統計処理を行い、保健衛生行政の基礎資料に資する。

(10) 在宅医療・介護連携推進事業

鹿行管内における在宅医療・介護の連携を推進するために、鹿島医師会による在宅医療・介護連携拠点事業の成果をふまえて、管内市が取り組む地域包括ケアシステム構築に向けた施策が推進されるよう支援に努める。

2 衛 生 課

(1) 環境衛生関係

ア 井戸水の安全確保対策及び水道の普及促進

井戸水を飲用している住民に対し，定期的な水質検査の必要性を啓発するとともに，水質基準に不適合の場合は飲用指導と併せて水道への転換についての助言を行う。また，水道の普及促進を図るため，水道普及率が県平均を下回っている市に対し，水道パネルの移動展示を実施し，安全な水道水についての周知を行う。

イ 生活衛生営業の指導強化

旅館業（季節，簡易宿所，下宿），理容所，美容所及びクリーニング所（取次店）の衛生確保を図るため，監視指導を実施する。

ウ レジオネラ症防止対策

入浴施設に起因するレジオネラ症の発生を防止するため，監視指導課と連携を図りながら，旅館及び公衆浴場に対して，条例で定めた基準の遵守を徹底させ，浴槽水の安全確保を図る。

エ 住居衛生関係

住居の内外で発生する衛生害虫についての相談を受ける。

(2) 食品衛生関係

ア 飲食に起因する危害発生防止

飲食店等の食品営業施設の許可事務及び監視指導を行うとともに，食品衛生推進員の自主活動を促進し，飲食に起因する危害の発生防止を図る。また，販売店で流通している各種の加工食品や，農林・畜水産物に対する試験検査を実施し，違反食品の排除を図る。

イ 大量調理施設の衛生確保対策

集団給食施設（事業所，学校等），結婚式場，宴会場併設の大型飲食店，弁当製造施設などに対し，監視指導課と連携を図りながら指導を実施するとともに，H A C C Pの普及を促進する。

ウ 食中毒予防対策

ノロウイルスによる食中毒を予防するため，営業施設，給食施設及びその納入業者における食品取扱者の衛生管理及び食品の衛生的取扱いについて徹底を図る。また，カンピロバクター，腸管出血性大腸菌，サルモネラ食中毒の予防対策を徹底するため，生食用以外の食肉を生又は生に近い状態で提供することを控えるよう営業者に対して指導するとともに，県民に対する啓発を行う。

エ H A C C Pに沿った衛生管理の徹底

令和2年6月，H A C C Pに沿った衛生管理が制度化されたことを受け，食品営業許認可申請，食品等事業者に対する監視指導，食品等事業者が参加する講習会等を利用してリーフレットを配布し，H A C C Pに沿った衛生管理の徹底を図る。

(3) 薬事関係

ア 医薬品等の安全確保

医薬品の品質，有効性及び安全性の確保並びに毒劇物による保健衛生上の危害防止を図るため，監視指導課と連携を図りながら指導を実施する。

(ア) 医薬品，医療機器等の品質，有効性及び安全性の確保等に関する法律及び毒物劇物取締法等に基づく許認可・監視指導

(イ) 医薬品等の品質確保

(ウ) 健康食品の試買検査

(エ) 有害物質を含む家庭用品の流通防止

イ 医薬品等の適正使用の推進

薬に対する正しい知識及び医薬分業の利点が活かせる「かかりつけ薬局・薬剤師」の普及啓発を図るとともに，県民へ提供する薬局機能情報の充実に努める。

ウ 薬物乱用防止対策

危険ドラッグ，覚醒剤等の乱用を防止するため，薬物乱用防止指導員潮来地区協議会などの地域組織と連携を図り，「ダメ。ゼッタイ。」普及運動を促進する。

エ 毒物及び劇物による危害防止対策

鹿島コンビナート内の毒物及び劇物製造業者に対し，監視指導課と連携を図りながら，取扱設備の適正な管理の徹底等について指導する。また，毒物劇物販売業者に対しては，保管・管理に係る基準の遵守等を指導する。

(4) 血液関係

ア 献血事業の推進

市及び血液センターと連携して，献血思想の普及啓発を図るとともに，若年層の献血者育成に努めていく。

令和2年度 移動採血配車計画

市名	献血目標(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
鹿嶋市	792	2	4	1	1	2	1	3	2	2	2	2	2	24
潮来市	230	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	2	1	6
神栖市	1,323	8	2	3	6	3	6	2	1	5	3	6	5	50
銚田市	350	1	0	0	0	1	0	1	1	1	1	0	0	6
行方市	460	0	2	0	2	1	1	1	2	0	1	0	1	11
計	3,155	11	8	5	9	7	9	7	6	8	8	10	9	97

イ 骨髄バンク登録及び臓器移植事業

新たな骨髄バンクドナー登録者を確保するため，献血の受付時に併せて登録会を年6回開催実施する。

3 監視指導課

潮来保健所の管轄区域の食品衛生、環境衛生及び薬事の各法令に関する施設に対して監視指導を行うとともに、必要に応じ、収去検査や現場検査などの科学的知見に基づき指導を実施する。

(1) 食品衛生関係

- ア 食品の規格基準違反、食中毒等、食品による危害の発生を防止するため、令和2年度食品衛生監視指導計画に基づき、食品等事業者への立入検査、県内で製造、販売等される食品等の収去検査を、効率的・科学的に実施する。特に、年度初めに管内の大規模弁当調製施設において食中毒が発生したことから、弁当調製施設を重点業種として、「大量調理施設衛生管理マニュアル」の遵守等を指導する。
- イ 食品表示法に基づく表示に完全移行（令和2年4月）されたことに伴い、不適正な食品表示を防止し、表示に対する県民の信頼を確保するため、生活衛生課と連携して事業者の指導を強化する。
- ウ ノロウイルス及びカンピロバクター等による食中毒を防止するため、手洗いや調理器具等の洗浄・消毒の徹底、さらには、従事者の健康管理の自主点検や施設等衛生管理の記録ならびに保管について指導を強化し、食品の安全確保を図る。
- エ 食の安全に関する消費者・事業者・行政等の相互理解を促進し、県民の食に対する不安の軽減を図るとともに、行政に対する意見を聴取し、施策に反映させることを目的とした「食の安全・安心に係るリスクコミュニケーション」を昨年に引き続き実施する。
- オ HACCP（ハサップ）に沿った衛生管理を制度化する改正食品衛生法の経過措置が令和3年5月末に終了することに伴い、食品等事業者にハサップ手引書等を配布し周知の徹底を図る。併せて、ハサップ承認施設の監視指導を行い、食品営業者全体の自主衛生管理の向上を目指す。

(2) 環境衛生関係

- ア 旅館業及び公衆浴場については、施設全般の衛生管理について監視指導を実施するとともに、入浴施設に循環ろ過器を設置する施設には自主検査の徹底と、レジオネラ症防止対策の徹底について指導を実施する。
- イ 遊泳用プールについては、採水検査を実施するとともに自主点検等について指導を強化し、併せて採暖槽等のレジオネラ症防止対策の徹底を図る。
- ウ クリーニング所については、取り扱い洗濯物の再確認を行うとともに施設全般の衛生管理について監視指導を実施する。
- エ 興行場、特定建築物については、施設全般の衛生管理について監視指導を実施する。

(3) 薬事関係

- ア 令和2年度薬事監視等年間計画に基づき、薬局・医薬品販売業者等における医薬品の安全性及び有効性の確保並びに取扱いの適正を図るため、医薬品

- の収去検査を実施するとともに、監視指導の強化に努める。
- イ 無承認無許可医薬品の流通防止と健康被害を未然に防止するため、健康食品の販売実態の調査を実施する。
 - ウ 毒物劇物による事故防止及び取扱いの適正化を図るため、関係施設に立ち入り、監視指導の強化に努める。
 - エ 毒薬、向精神薬、麻薬等の取扱施設における医薬品適正管理の徹底のため、管内薬局、病院等対象施設への監視指導の強化に努める。

4 健康増進課

(1) 健康づくり・栄養改善事業の推進

「第3次健康いばらき21プラン」に基づき、すべての県民が健康で明るく元気に暮らせる社会の実現を目指し、関係機関・団体等との連携・協働によりプランの周知を図るとともに、県民一人ひとりの健康づくり実践活動を支援するための情報提供、環境整備を推進する。

ア 第3次健康いばらき21プランの推進

会議・研修会、ホームページ、FMかしま等あらゆる機会を通して生活習慣病の発症予防・重症化予防に関する情報を発信し、生涯を通じた健康づくり運動を支援する。特に「循環器疾患予防月間」「世界禁煙デー」等の取組を強化する。

イ ヘルスロード構想の推進

県民が身近なところで気軽に歩いて新たな発見と健康増進ができるヘルスロードの増加・活用を促進する。また、毎月第一日曜日の「いばらき元気ウォークの日」を周知し、ウォーキングを通じた運動習慣づくりを奨励する。

ウ 健康増進事業の推進

健康増進法に基づき、管内各市が行う健康診査・健康相談・健康教育・訪問指導・肝炎ウイルス検診等の健康増進事業を補助支援する。また、二次医療圏を単位とする地域・職域連携推進協議会を開催し、地域保健と職域保健の連携を推進する。

エ 食育の推進

「茨城県食育推進計画（第三次）」に基づき、あらゆる世代のライフステージに応じた間断ない食育を推進する「生涯食育社会」の構築を目指し、関係機関・団体と連携した取組を推進する。

(ア) いばらき健康づくり支援店登録の推進

健康的で満足度の高い食生活が送れるよう、飲食店等と連携した食環境整備の一環として、「いばらき健康づくり支援店」登録制度や健康的な外食・中食（なかしょく）を選択する目安（野菜たっぷり、うす味、低カロリー）となる「いばらき健康づくり支援店登録弁当」を推進する。

(イ) 食育支援ネットワーク事業

管内各市の担当者等による食育・栄養改善事業の情報連絡会を開催し、管内の食育支援ネットワークを築き、食育を推進する。

オ 栄養指導・栄養管理指導

健康増進法に基づき、県民の健康増進を図るための栄養指導、給食施設に対する栄養管理指導等を行う。

カ 食生活改善地区組織の育成支援

管内食生活改善地区組織の健康づくり食生活改善活動が効果的に行われるよう組織の育成支援に努める。

(2) 総合がん対策事業の推進

「茨城県総合がん対策推進計画（第四次計画）」に基づき、がん征圧を目指してがんに関する正しい知識の普及及びがん検診受診を推進する。

ア がん検診推進事業

がん検診の受診促進を図り、がんの早期発見と正しい健康意識を普及する。

イ がん予防・検診講習会

がん予防の理解を深め，がん検診の普及促進のための講習会を開催する。

ウ がんに関する正しい知識の普及啓発

研修会・会議，ホームページ，FMかしま等あらゆる機会を通してがんに関する正しい知識・がん検診受診の重要性を発信する。特に「がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間」の取組を強化する。

(3) 母子保健事業の推進

「大好きいばらき次世代育成プラン」に基づき，子どもを安心して生み育てられる環境整備を進めるため，管内各市との連携を密にし，一体となって母子保健事業を推進する。

ア 総合母子保健・福祉相談指導事業

精神・運動発達面に障害をもつ児や長期療養児等に対して，保健・福祉・医療が連携して専門的な療育支援を行う。

(ア) 保健所発達相談支援事業(心理専門員：毎月1回，専門医師：偶数月)

(イ) 総合母子保健・福祉ネットワーク事業

(市母子保健担当者会議，研修会：3回)

イ 要支援妊産婦支援体制整備事業

鹿行地区の要支援妊産婦支援体制構築のため，連携会議及びケース会議を行う。

ウ 母子医療対策事業

慢性疾患に罹患していることにより長期にわたり療養を必要とする児童及び結核に罹患している児童に対して医療の給付及び相談・指導を行う。

・小児慢性特定疾病医療費助成事業(対象疾患は16疾患群762疾病)

エ 不妊治療費助成事業

体外受精及び顕微授精による不妊治療に要する費用の一部を助成し，不妊に悩む夫婦の経済的負担の軽減を図る。

(4) 歯科保健事業の推進

県民の生涯にわたる歯と口腔の健康保持を目指し，歯の衛生に関する正しい知識の普及啓発，むし歯や歯周病に関する情報提供等を行い，「第3次健康いばらき21プラン(歯科口腔編)」に基づく8020・6424運動を推進する。

・市町村歯科保健推進事業

(5) 難病対策の推進

平成27年1月から「難病の患者に対する医療等に関する法律」に基づく新たな医療費助成制度が開始され，令和元年7月からは対象疾病数が333疾患に拡大された。

難病患者を取り巻く関係機関の相互連携を強化し，地域課題の検討や体制整備を図るための難病対策地域協議会を開催する。特に，人工呼吸器を使用している在宅療養難病患者は，緊急時の対応及び患者や家族への継続的な支援が必要であるため，医療費の公費負担，難病医療講演会や訪問指導等の充実を図り，難病医療ネットワーク体制を構築していく。

(6) 肝炎対策の推進

B型・C型肝炎ウイルス感染者対策として，保健所において肝炎ウイルスの無料検査，インターフェロン及びインターフェロンフリー治療・核酸アナログ製剤治療等に係る医療費の助成を行い，検査から治療までの肝炎総合対策を推進する。肝炎ウイルス無料検査は保健指導課で実施。

平成 26 年度からは、保健所及び市が実施した肝炎ウイルス検査陽性者に対するフォローアップとして、初回精密検査及び定期検査（年 1 回）費用助成や受診勧奨・受診状況の確認等を実施している。

5 保健指導課

(1) 感染症対策の推進（結核を除く）

感染症のまん延を防止するため、予防啓発に努めるとともに、患者発生時には、適切な医療の確保と迅速な積極的疫学調査及び健康診断を実施する。

特に新型コロナウイルス感染症に関しては、医師会や市と連携し、PCR検査を受けられる体制を整備し、心配な患者が適切な時期に検査を受け、感染拡大を防止できるようにしていく。

また、インフルエンザや感染性胃腸炎等の集団発生を予防するため、県民に対して情報提供及び注意喚起を行うとともに、社会福祉施設等の巡回指導を強化する。

学校欠席者情報システム及び保育園欠席・発症者情報収集システムを活用した発生状況の監視を行い、広域的な感染症が発生した場合は、医療機関等に対し速やかに情報提供していく。

(2) 結核対策の充実

令和3年を目標年度とする第3次茨城県結核予防計画に基づき、患者の早期発見のための健診の充実、適正医療の提供、DOTSの推進、結核に関する知識の普及啓発等、効率的な結核対策を実施することにより結核のまん延防止を図る。

(3) 予防接種における誤接種時の対応

市から保健所に誤接種報告書が提出された場合は、医事担当者とも連携し、医療機関の医療安全対策等について適切な指導を行う。

(4) エイズ・STD対策の充実

HIV、クラミジア、梅毒の無料匿名検査（昼間及び夜間（月1回）検査）を実施し、早期発見、早期治療、予防行動を推進する。

肝炎検査（健康指導課事業）についても、同日実施している。

また、性感染症予防の普及啓発事業として、専門学校生（鹿島産業技術専門学校）に対する講演会や、エイズ予防キャンペーン、FMかしまで情報提供等を行う。

(5) 原子爆弾被爆者対策

「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」により、委託医療機関にて年2回の定期健康診断、年1回のがん検診受診をすすめるとともに、各種手当・給付事務等の推進を図る。

(6) アスベストによる健康被害対策

「石綿による健康被害の救済に関する法律」による認定申請等の受付を行う。

(7) 精神保健福祉対策

ア 精神保健福祉相談機能の充実

嘱託医師による精神保健相談に加え、精神保健福祉センターとの連携を図り、薬物等依存症の相談を実施する。

イ 精神科救急医療の対応

通報等に関わったケースについては、関係機関と連携し、継続的に支援していく。

ウ 社会復帰の推進・自立支援と社会参加の促進

社会復帰促進事業に基づき各市や関係団体と連携し、生活の場、活動の場として社会資源の整備・確保に努めるとともに、退院可能な精神障害者の地域生

活への移行を推進するため，地域移行支援協議会を開催する。

エ 精神障害者支援団体等の育成

精神保健福祉の正しい知識の普及や精神障害者に対する支援活動を推進するため，家族会や患者会（自助グループ）等組織の育成と活性化を図り，障害者の自己実現及び自立した生活の援助を推進する。

オ 心の健康づくりに関する普及啓発活動の推進

地域における一般住民や関係者等に対し，精神保健福祉に関する正しい知識の普及啓発を図るため講演会等を開催する。

カ ひきこもり対策の推進

精神科医師による専門相談及びひきこもり状態にある者を抱える家族等を対象に，家族教室を第3水曜日の午後に定例開催する。家族同士の交流等を通して心の負担の軽減を図るとともに，当事者のひきこもりからの回復及び社会参加のための支援を推進する。

キ 自殺対策の推進

自殺を防止するため，3月の自殺対策月間で，市職員等の協力のもと街頭キャンペーンを実施，さらにFMかしまを活用して啓発を行う。

(8) 保健師の人材育成

保健所及び各市において保健師が分散配置されている中で，統括保健師の役割は極めて重要である。そこで，各市の統括保健師及び補佐的役割の保健師による会議を開催し，保健活動の推進のための人材育成や部署横断的な連絡体制等を検討していく。

(9) 神栖市におけるヒ素汚染健康被害に対する健康危機管理対策

「神栖ヒ素汚染健康相談室(平成25年4月から保健指導課に設置)」を窓口として，環境省，茨城県，神栖市・鹿嶋市の関係機関，調査研究を行う専門職等と連携し，緊急措置事業を適切に実施し，住民の健康不安の解消や新たな被害の発生防止等を図る。

令和2年度潮来保健所事業計画(上期分)

	総務課 地域保健推進室	衛生課	監視指導課	健康増進課	保健指導課
定例	<ul style="list-style-type: none"> ・定例保健所長会 ・各市地域ケア調整会議(随時) ・各市在宅医療・介護連携推進事業等(随時) ・人口動態調査(毎月) ・医療施設動態調査(毎月) ・病院報告(毎月) ・新型コロナウイルス感染症対応に係る病院長等懇談会(随時) ・鹿行地域PCR検査センター設置運営調整会議(随時) ・新型コロナウイルス感染症対策知事会議(Web)(随時) ・新型コロナウイルス感染症対策部内会議(Web)(随時) 	<ul style="list-style-type: none"> ・薬局等開設許可申請(新規・更新)受付並びに調査 ・骨髄バンク登録会・献血事業 ・薬物乱用防止教室 ・環境・水道関係許可及び届出営業受付並びに調査 ・薬局等開設許可申請(新規・更新)受付並びに調査 ・食品営業許可申請受付 ・食品営業新規申請調査(毎週火・金曜日) ・食品営業更新申請調査(毎月) ・フグ取扱、理美容、麻薬取扱施設の監視 	<ul style="list-style-type: none"> ・薬局等医薬品販売業監視・毒劇物販売業監視 ・旅館業監視・公衆浴場監視 ・食品製造業監視・食品収去検査 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所発達相談(心理専門員毎月1回,専門医師(偶数月)) ・毎月19日食育の日 ・毎月第1日曜日「いばらき元気ウォークの日」 	<ul style="list-style-type: none"> ・性感染症(エイズ,クラミジア,梅毒)検査・相談 毎週火曜日 ・夜間性感染症・肝炎(エイズ,クラミジア,梅毒,肝炎)検査・相談 毎月第1月曜日 ・肝炎ウイルス(B型,C型)検査・相談 毎週火曜日 ・感染症診査協議会結核部会 毎月第1水曜日 ・精神保健相談 毎月第1・第3木曜日 ・薬物相談 毎月第4金曜日(4・12・3月を除く) ・ひきこもり専門相談 毎月1回 ・ひきこもり家族教室 毎月第3水曜日 ・小児特定診療(神栖済生会病院(偶数月))
4月	<ul style="list-style-type: none"> 1 新型コロナウイルス感染症対応に係る病院長等懇談会(2回) 	<ul style="list-style-type: none"> 1 衛生課長等会議 2 新任食品衛生・環境衛生・薬事監視員研修会 3 骨髄バンク事業担当者研修会 4 無承認無許可医薬品対策事業 5 不正大麻、けし撲滅運動(～7月) 6 市町村水道事業担当課長会議 7 調理師、製菓衛生師担当者会議 8 潮来食品衛生協会総会及び表彰式 	<ul style="list-style-type: none"> 1 旅館業監視(定修関係) 2 事業所給食監視(～6月) 3 飲食店(旅館)監視(～8月) 4 毒物劇物販売業監視(農薬用品目) 5 無承認無許可医薬品調査 	<ul style="list-style-type: none"> 1 健康増進事業等実績報告の審査 	<ul style="list-style-type: none"> 1 感染症・健康危機管理・疾病対策等担当課長等会議 2 精神保健福祉担当課長等会議 3 看護学生実習オリエンテーション 4 小児特定診療(神栖済生会病院)
5月	<ul style="list-style-type: none"> 1 衛生行政報告例 2 鹿行地域PCR検査センター設置運営調整会議(2回) 3 医療施設立入検査(診療所) 	<ul style="list-style-type: none"> 1 薬物乱用防止指導員協議会総会(書面開催) 2 無承認無許可医薬品対策事業 4 食品衛生・環境衛生・薬事担当者会議 5 食品表示担当者研修会 6 茨城県食品衛生協会理事会総会 7 潮来あやめ祭り事前食品衛生合同巡回指導 	<ul style="list-style-type: none"> 1 旅館業監視(定修・あやめ祭り関係) 2 あやめ祭り事前一斉監視 3 毒物劇物販売業監視(農薬用品目,特定品目) 	<ul style="list-style-type: none"> 1 世界禁煙デー・禁煙週間(～6月6日) 2 管内食生活改善推進団体連絡協議会総会(書面) 	<ul style="list-style-type: none"> 1 新規感染症担当者研修会 2 NPO法人いれいめい・潮来地方家族会総会 3 県立医療大看護学科公衆衛生看護学実習(4年生)
6月	<ul style="list-style-type: none"> 1 国民生活基礎調査(大規模調査) 2 地域保健・健康増進事業報告 3 鹿行地域PCR検査センター運営調整会議 4 鹿行地域PCR検査センター5市会議 5 鹿行地域PCR検査センター鹿島都市開発事業所説明会 	<ul style="list-style-type: none"> 1 農業危害防止運動 2 無承認無許可医薬品試買検査 3 市町村血液業務担当主管課長会議 4 水道週間(水道普及促進)キャンペーン 5 HACCP技術講習会 6 食品衛生事務事業打合せ会議 7 食品衛生担当者研修会 8 生食用肉の試験検査 9 県内産農産物の残留農薬試験検査 	<ul style="list-style-type: none"> 1 旅館業監視(あやめ祭り・スポーツ合宿関係) 2 菓子製造業監視 3 毒物劇物販売業監視(一般) 	<ul style="list-style-type: none"> 1 歯と口の健康週間 2 食育月間 	<ul style="list-style-type: none"> 1 エイズ検査普及週間 2 エイズ,薬物乱用防止健康教育 3 原子爆弾被爆者定期健康診断 4 県立医療大看護学科公衆衛生看護学実習(4年生) 5 筑波大学医学群医学類社会学実習(4年生) 6 小児特定診療(神栖済生会病院)
7月	<ul style="list-style-type: none"> 1 鹿行地域PCR検査センター5市協議 	<ul style="list-style-type: none"> 1 「愛の血液助け合い運動」推進月間 2 食中毒予防月間(～8月) 3 食品衛生合同巡回指導 4 夏期食品取締監視指導 5 給食施設衛生管理検証事業 6 製菓衛生師試験願書受付 	<ul style="list-style-type: none"> 1 医薬品等一斉監視(～12月) 2 県内流通医薬品試験検査(～2月) 3 遊泳用プール監視 4 クリーニング業監視 5 弁当調整施設監視 6 夏期食品一斉取締(～8月) 	<ul style="list-style-type: none"> 1 ヘルスロードコースの募集(～8月) 2 栄養指導員会議 	
8月	<ul style="list-style-type: none"> 1 感染対策研修会 2 鹿行地域感染症対策ネットワーク会議 3 県立医療大看護学科公衆衛生看護学実習 	<ul style="list-style-type: none"> 1 理美容公衆衛生推進員委嘱交付式 2 食中毒予防広報、食品衛生週間 3 関プロ食品衛生監視員研修会 4 学校給食衛生管理講習会 5 児童福祉施設担当者研修会 6 茨城をたべよう収穫祭出店者説明会 7 海水浴場売店等監視指導 8 二枚貝の汚染状況調査(ノロウイルス) 	<ul style="list-style-type: none"> 1 業務上取扱者監視 2 薬局,高度管理医療機器販売業監視 3 毒物劇物販売業監視(一般) 4 遊泳用プール監視 5 旅館業監視(ビジネスホテル) 6 そうざい製造業監視 	<ul style="list-style-type: none"> 1 特定給食施設等巡回指導 	<ul style="list-style-type: none"> 1 感染症予防研修会(児童施設) 2 小児特定診療(神栖済生会病院)
9月	<ul style="list-style-type: none"> 1 第1回鹿行地区医療関係機関担当者会議 2 医療施設立入検査(病院)書類指導 3 地域医療構想調整会議(書面) 	<ul style="list-style-type: none"> 1 食品衛生フェア 2 高齢者施設担当者研修会 3 茨城をたべよう収穫祭受付 4 潮来食品衛生協会臨時総会(鉾田統合関係) 	<ul style="list-style-type: none"> 1 医薬品販売業,卸販売業監視 2 薬局監視 3 薬局,業務上取扱者監視 4 公衆浴場監視 5 旅館業監視 6 農産物漬物収去検査(細菌) 7 輸入食品収去検査(柑橘類) 8 輸入食品収去検査(菓子等) 	<ul style="list-style-type: none"> 1 循環器疾患予防月間 2 健康増進普及月間・食生活改善普及運動 3 特定給食施設等研修会 4 総合母子保健・福祉ネットワーク事業研修会 5 管内食生活改善推進団体連絡協議会役員会 6 たばこ対策促進事業(戸別訪問) 	<ul style="list-style-type: none"> 1 感染症予防研修会(高齢者施設) 2 結核予防街頭キャンペーン

新型コロナウイルス感染症の状況により,事業の延期若しくは中止となる。

令和2年度潮来保健所事業計画(下期分)

	総務課 地域保健推進室	衛生課	監視指導課	健康増進課	保健指導課
10月	1 医療施設立入検査(病院)書類指導 2 介護老人保健施設感染症対策実地指導 3 医療施設静態調査 4 患者調査	1 薬と健康の週間 2 麻薬免許更新申請・年間届受付 3 全国食品衛生監視員研修会 4 茨城県体及び障害者スポーツ大会食品監視 5 茨城をたべよう収穫祭監視	1 薬と健康の週間 2 医薬品販売業監視 3 旅館業監視 4 公衆浴場監視 5 添加物製造業監視 6 輸入食品試験検査(細菌) 7 放射性物質収去検査 8 菓子製造業監視 9 輸入野菜収去検査(残留農薬)	1 栄養指導員会議 2 養育相談支援事業講演会及び交流会	1 小児特定診療(神栖済生会病院) 2 人材育成研修会
11月	1 医療施設立入検査(病院)書類指導	1 薬物乱用防止指導員研修会及び表彰式 2 毒物劇物運搬車両一斉取締り 3 茨城県薬剤師学術大会 4 薬事関係講習会 5 美容組合衛生講習会 6 旅館業組合衛生講習会 7 入浴施設衛生管理者講習会 8 食品衛生責任者実務者講習会 9 県内産農産物の残留農薬試験検査	1 毒物劇物製造(輸入)業監視(～2月) 2 公衆浴場監視 3 特定建築物監視 4 漬物製造業監視 5 農産物漬物収去検査(ソルビン酸) 6 輸入食品収去検査(漬物原材料) 7 輸入魚介加工食品収去検査(動物用医薬品) 8 輸入食品収去検査(動物用医薬品)	1 管内食生活改善推進団体連絡協議会研修会 2 第2回鹿行地区要支援妊産婦支援ケース会議	1 薬物関連研修会 2 原子爆弾被爆者健康診断
12月		1 麻薬合同立入検査 2 理容組合衛生消毒講習会 3 年末食品に係る監視指導 4 食品衛生年末合同巡回指導 5 給食施設衛生管理検証事業(～1月) 6 畜水産食品の動物医薬品残留試験検査	1 毒物劇物製造(輸入)業監視 2 特定建築物監視 3 旅館業監視 4 年末食品一斉取締	1 国民健康・栄養調査互審会 2 食育支援ネットワーク事業実施	1 世界エイズデー 2 小児特定診療(神栖済生会病院) 3 地域移行支援協議会
1月		1 「はたち」の献血キャンペーン(～2月) 2 茨城県食品衛生大会 3 食肉衛生技術研修会 4 食鳥肉衛生技術研修会 5 輸入食品の試験検査(細菌・ソルビン酸) 6 輸入菓子の試験検査 7 魚介類の水銀、PCB検査 8 県内産ヒラメの寄生虫(クドア)の汚染状況調査	1 毒物劇物製造(輸入)業監視 2 特定毒物研究者監視 3 公衆浴場監視 4 飲食店営業(旅館)監視(～3月) 5 輸入野菜収去検査(残留農薬) 6 アレルギー物質収去検査 7 大型店舗監視	1 いばらき食育推進大会	1 統括保健師連絡会議 2 精神科病院実地診査
2月	1 鹿行保健医療福祉協議会 2 鹿行保健医療圏地域医療構想調整会議 3 鹿行地域PCR検査センター運営調整会議	1 衛生課長等会議 2 薬事担当者研修会 3 環境衛生業務担当職員関東ブロック研究発表会 4 生活衛生関係技術担当者研修会 5 地下水測定事業に基づく飲用指導 6 食品衛生指導員研修会	1 薬局監視 2 公衆浴場監視 3 魚介類加工業監視(～3月)	1 健康づくり表彰式 2 鹿行地区母子保健担当者等連携会議 3 第3回鹿行地区要支援妊産婦支援ケース会議 4 鹿行地区歯科保健担当者会議 5 国立保健医療科学院短期研修 6 難病対策地域協議会	1 小児支援調整検討会議・実務者会議 2 小児特定診療(神栖済生会病院)
3月			1 医薬品販売業監視 2 旅館業監視(スポーツ合宿)	1 管内食生活改善推進団体連絡協議会役員会	1 自殺予防キャンペーン 2 コホート検討会

新型コロナウイルス感染症の状況により、事業の延期若しくは中止となる。